



四書國字釋

孟子

四

□ 12
2319
9 止



門 仁 13
號 2319
卷 9

四書國字辯孟子卷之四

告子章句上

告子曰性猶杞柳也義猶杯棬也告子ハ性ハモト天理ナルヲ知ラズノ性ハ惡ナリト思フニヨリ性

ト仁義ヲ別ニスルユ此ノ問アリ杞柳ハヤナギナリ杯棬ハ飲食ヲモル器ニアラズニゲテコレヲツクルモノ義字ノ上ニ仁ノ字ヲ加ヘテミルハ落字ナラント
以人性爲仁義猶以杞柳爲杯棬コレ云意ハ孟子ノ性善ナリト云ヤアリテ人性モト仁義ナレコレヲタメ

カメテ後ニソノ徳成ルコレ人性ヲ以テ仁義ノ 孟子曰子能順杞柳之性カメテ後ニソノ徳成ルコレ人性ヲ以テ仁義ノ

而以爲杯棬乎告子ハ杞柳ノ自然ノ性ニシタカヒテコレヲツクランヤ但レ將戕
賊杞柳而後以爲杯棬也杞柳オノツカラ器ニナルキノ性アルニヨリテ器トスルヲ云 如將戕賊イタメソコナヒテ後ニコレヲツクラントスルモノナリ

杞柳而以爲杯棬則亦將戕賊人以爲仁義與モレ杞柳ヲイタメソコナフ
ニタ人ノ人タル本性ヲソコナヒヤブリテ 率天下之人而禍仁義者必子之言テ仁義ノ徳ヲツクラントノコト
夫人ノ性ヲソコナヒヤブリテ仁義ヲナスト云ハ人ゴトニミナ仁義ヲスルハ我カ
天ヨリウケタル本性ヲソコナフトモコレヲスルモノナカラシコレ天下ノ人ヲヒキイ

四書國字辯

卷四 孟子

一



テ仁義ノ道ニワザハヒヲ告子曰性猶湍水也決諸東方則東流決諸

西方則西流告子ハ性ヲ惡ナリトメタメニゲテ後ニ善ヲナスヘシト云コ

変シタルハ動ク処アルユヘナリ湍ハセナリ急ニナガル人性之無分於善不

善也猶水之無分於東西也性ハモト善惡ノワカチナレソノナル処ニヨリテ

リタルハナレ只ソノキリオトス方ヘナカルガ如シト揚子ガ人ノ性ハ善惡混ス

ト云ニナカレ然レ告子ハ善惡モト性ノナキ処ニソノナル処ニヨリテ生ストコレ

スコレ異子孟子曰水信無分於東西無分於上下乎水ノチナルハ東西ヲワカ

ヒキ方ヘナカルハ上下人性之善也猶水之就下也人無有不善水無有不

下人性ノ善ナルハ水ノヒキ方ニナカルガ如シ今夫水搏而躍之可使過

激激而行之可使在山是豈水之性哉其勢則然也激ストハ物ニアテ

ラ云水ヲウチタキテオドリアガラスレバ人ノヒタヒヲモスキコスベシ又セキアゲテ

ヤラバ山ノウヘモノボスベシ水ハヒキニツクモノナレバカクノ如クナルハ東西ヲワカサルヨ

リモ甚レコレナレ水ノ本性ナランヤウチ人之可使爲不善其性亦猶

是也人性ハ元來善ナルモノニシテ不善ナルハナケレモヒキニツク水ノ性ヲ

性ニサカフアルナリ何ユニ性善ナルモノ不善ヲナスナレバ物欲ニイサナハレ

利害ニセマラレテソノ本体ヲ失フ水ノ搏激セラルガ如シト此ノ章ノ意人性ハ

モト善ナルユヘコレニシタガハ不善ナレ惡ナキユヘニ是ニソムキテ告子曰生之

後ニ惡ヲナスモトヨリ定体ナクソノ惡ニライテセズト云フナキモノニアラス

謂性ハ生意ヲ云ソレ人ハ天地ノ萬物ヲ生タスル処ノ氣ヲウケテ生レユヘニ身一ミツ

ル処スベテコレ發生ノ氣ニモウコキハタラク生意ヤム時ナレソノ氣ノ内ニオノヅカラ精

神ヲクミテ心ニ感レ身ヲルル知覺應當セズト云フナレ告子ソノ知覺運動スル所

以ノモノヲサレテ性トス凡ソ告子カ性ヲ論スル前後四章ソノ詞同シカラサレモ大意ノ

此ノ章ノ說ハツレズコレ釋氏ガ作用是性ト云ニ相チカクノスコレノチカヒナルナリ

孟子曰生之謂性也猶白之謂白與ト云ナラバオレナヘテ物ノ白キヲ白レト云ガ

コトキ曰然告子ソウ白羽之白也猶白雪之白白雪之白猶白玉之白與

孟子又問フ鳥ノ羽モ白ク雪モ白ク玉モ白ク曰然告子然則犬之性猶

牛之性牛之性猶人之性與告子ガ然リト云ラウケテ白羽白雪白玉トモニ白

ナラ人ノ性ノ如キカト犬牛ト人トハ知覺運動ハ同シケレモソノ性タルハ大ニ異ナリ

ヨリテコレヲ以テトヒツメラレ告子又答ルアタハススベテ性ヲトクフ古人ノコト多シト云

ヘ程子張子ニ至テ理氣ヲワキテ論スルユヘソノ義ハシメテ明ナリ性ハモト夫ニウケ
 テ心ニソナタル理ナリサレモ理ハ氣ノ内ニ寓メツ子ニ相ハナレズ蓋シ人物ニテ氣ニヨリテ
 ヲナレ理ニヨリテ性ヲソナフ氣ヲ以テ是ヲイハバ知覺運動人ト物ト異ナラザルガ如シ理
 ヲ以テ是ヲ云ハハ仁義礼智ノウケタル物ノ得テ全フスル処ナランヤコレ人ノ性不善
 ナクノ萬物ノ靈タル処ナリ 告子曰人長色性也仁内也非外也義外也
 告子氣ヲ以テ性ニアツルハ誤ナリ 孟子ハ仁義ヲ以テ性ノアル処トス生ヨ子ハ仁義ニナレトス
 非内也 桮棗楛ノ如シコレ外ニスルノ一ナリソノ後孟子ノ辨ニヨリテ仁ハ物ヲ愛
 スル意ナレバ事ノ義ヲハカルヨリモヤ、切ナルユヘ内ニ近シトス故ニコノ説ヲツクリテ
 食ト色トヲ愛スルノ意ハ人ノ本性ナルニヨリ内ヨリ出ツ義ハコレ處置ノヨロシキ処
 ナルユヘミナ外ニ生ス人々カヲ内ニ用テ必スレモ外ニ求ムベカラズト上章ニ生ヲ性ナ
 リト云ハコレ知覺運動スル所以ノモノヲ以テ性トスコ、ニハ食色ノ愛スベキヲ知テ
 コレヲ愛スルヲ以テ性トス 孟子曰何以謂仁内義外也 仁義ハミナ内ニアリテ
 ノ義ハ外ニ 曰彼長而我長之非有長於我也猶彼白而我白之從其白
 アリト云フ 於外也故謂之外也 告子仁ヲ内トスルノ一子孟子トオモムキ 似タルユヘ只義ハ外ト
 白キヲ見テハ我レ是ヲ長レ白レトスルハ長トレ白レトスルノ意ニツ我カ内ニアルニア
 ラズ只外ニテソノ長セルト白キトニ從テコレヲ長トレ白レトスルナリヨリテコレヲ外ナリト
 云クイ 曰異於白馬之白也無以異於白人之白也不識長馬之長也無以

異於長人之長與 異於ノ二字ハ關字アルカ祈又ナラシトナリ 云云意ハ白キ
 ソノ長ヲ長トスルハ馬ト人トニチガフナキカ不占ヤレズイカシト異ナラズト
 スルニツノウチニ馬ト人トノ白キハ異ナラザレ長ヲ長トスルノ異ナルヲアレバエラヒ
 フキテ處置ス 且謂長者義乎長之者義乎 且謂以下ノ二句ハ人ヲ以テ
 ル意内ニアルナリ 曰吾弟則愛之秦
 ナレバ物ノ長セル処ヲ義トセンカ我ガコレヲ長トスル処
 ヲ義トセンカト則ツカ處置スル処コレ義ニ内ニアルヲ明カ 曰吾弟則愛之秦
 人之弟則不愛也是以我爲悅者也故謂之内 告子又イフ我レ長者ヲ
 タゞ長トスルノ一ノ愛ニタラズテ同シカラザルヨリミレバ仁ハオノツカラ内ニアリテ義
 ハオノツカラ外ニアリソノ證據ニハ我カ弟ヲハワレコレヲ愛レ秦國ノ人ノ弟ヲハワレ
 コレヲ愛セズ愛ノ同シカラサルヲアリ主トスル処ハ長楚人之長亦長吾之
 我レテリ他人ヨリ愛セヨトレイルニアラズ故ニ仁ハ内ニアリ云 長楚人之長亦長吾之
 長是以長爲悅者也故謂之外也 長ハコレトチガヒ楚國ノ人ノ長ヲ長トスルモ
 ナクノ只ソノ長ヲミル主トスル処ワレニアラザルユヘ義ハ外ニアリト云 曰者秦人之
 告子が云フ処長トスルヲ義ナリト知テコレヲ長トスルハ我心ヨリ出ルラシラス 曰者秦人之
 炙無以異於老吾炙夫物則亦有然者也然則老吾炙亦有外與 告
 食色ヲ性トノコレヲ愛スルヲ以テ内トス子孟子ソノアキラカナル処ヨリサトイフ
 秦國ノ人ノ炙ヲスキコノムハ我カ炙ヲスキコノムニチガフヲナレソレ弟ヲ愛スルヲ

以テイハバ泰ト我レトナガヘ臣食ヲ愛スルヲ以テイハバ泰モ我モチガフナクノ
楚ノ長ト五ガ長ヲ敬スルニ同シヤウナルモノアリ然ラバ食ヲ愛スルニモ亦外ナル
アルカモレコノ意内ナルトキハ長ヲ敬スル意モ亦内ニ外ニアラスト蓋シ告子愛
ト敬トニ淺深アリテ是ヲ愛敬スル意ハ三ナ内ヨリ出ルヲラズ故ニ孟子コノ説
ヲ以テコレヲワカツナリハレモヨリコニ至ルニテノ四章生ヨ子カ云フ処コトクイヒツ
メラルレモ亦タビクニソノ説ヲカヘテ孟子ニカタニテ求メツイニ身ニカヘリテ疑フ処
アルナレコレソノ云フ処ノ言ニ得ズバ心ニ求ムル子孟子問公都子曰何
以謂義内也孟子曰子孟子ノ義ハ内ナルヲウクカヒアイ弟子ノ公都子ニ問
曰行吾敬故謂之内也敬スル処外ニアリト云ヘレコノ敬ハ郷人長於伯兄ニ
歳則誰敬伯兄トハ知兄ノ季子又トフモレ郷人ナリト云フ也曰敬兄コトヘテ
郷人ノ一年長セルヲリモトシハ酌則誰先季子カサ子テ郷人ノ長ヲ請ノ同シ
レタナリ也我カ兄ヲ敬セシ郷人ニクニト所敬在此所長在彼果在外非
イソレカカ曰先酌郷人ニ賓客ナレバ先ツ所敬在此所長在彼果在外非
先ニセシト曰先酌郷人ニ郷人ニクニト

孟子ノ生ロクコノ論告子ハ長ヲ敬スルノ義仁愛ニ比スレバヒロキユヘ外トス季子
ハ長ヲ敬スルノ義時ニレタカフテ定処ナキヲ以テ外トスソノ云フ処告子ヨリ一等
高キニヨリ孟子曰敬叔父乎敬弟乎彼將曰敬叔父都子コトヘテ
再答ニ屈スオシヘテフ詞ナリオチトオトウトハ三ナ曰弟爲尸則誰敬彼將曰敬
弟尸トハ祭リノトキ同宗ノ孫タルモノヲタテラキ神ニカタトリ供養スカタ
敬セシカト問ハ季子ニサニ子曰惡在其敬叔父也彼將曰在位故也
オトウトヲ敬セント云ハシ子ソコデイヘ弟ヲ敬セバ叔父ヲ敬スルノ意イツクニカアル何コヘ
叔父バカリヲ敬セザルト彼尸タルユヘニ敬スルト云ハシ子亦曰在位故
也子モニタ郷人ナレレ宿賓客ノ位ニ庸敬在兄斯須之敬在郷人庸敬ハ
易ノ敬ヲ云叔父ト兄トヲ敬スルハ庸敬ニ弟ト郷人ヲ敬スルハレバタクノ季子
敬ニテ權ニ一時ノ應変ナリソノ時ノ宜シキヲトルハ三ナ内ヨリ出テ外テラサル明ナリ
聞之曰敬叔父則敬敬弟則敬果在外非由内也孟子ノ説ヲ以テ問答ス
メカハル時ナク權ハレバタクニ一應ノ変ナリソノ時ノ宜キニカナヘルヲ三ナ内ヨリ出
ルノ義ニ通セズメ云ク叔父ヲ敬スヘキトキハ敬シ弟ヲ敬スベキトキハ敬スルハ我レヨリ由
ルニアラザレバ義ハ公都子曰冬日則飲湯夏日則飲水然則飲食亦在
決ノ内ヨリモス外ニアリ

孟子ノ生ロクコノ論告子ハ長ヲ敬スルノ義仁愛ニ比スレバヒロキユヘ外トス季子
ハ長ヲ敬スルノ義時ニレタカフテ定処ナキヲ以テ外トスソノ云フ処告子ヨリ一等
高キニヨリ孟子曰敬叔父乎敬弟乎彼將曰敬叔父都子コトヘテ
再答ニ屈スオシヘテフ詞ナリオチトオトウトハ三ナ曰弟爲尸則誰敬彼將曰敬
弟尸トハ祭リノトキ同宗ノ孫タルモノヲタテラキ神ニカタトリ供養スカタ
敬セシカト問ハ季子ニサニ子曰惡在其敬叔父也彼將曰在位故也
オトウトヲ敬セント云ハシ子ソコデイヘ弟ヲ敬セバ叔父ヲ敬スルノ意イツクニカアル何コヘ
叔父バカリヲ敬セザルト彼尸タルユヘニ敬スルト云ハシ子亦曰在位故
也子モニタ郷人ナレレ宿賓客ノ位ニ庸敬在兄斯須之敬在郷人庸敬ハ
易ノ敬ヲ云叔父ト兄トヲ敬スルハ庸敬ニ弟ト郷人ヲ敬スルハレバタクノ季子
敬ニテ權ニ一時ノ應変ナリソノ時ノ宜シキヲトルハ三ナ内ヨリ出テ外テラサル明ナリ
聞之曰敬叔父則敬敬弟則敬果在外非由内也孟子ノ説ヲ以テ問答ス
メカハル時ナク權ハレバタクニ一應ノ変ナリソノ時ノ宜キニカナヘルヲ三ナ内ヨリ出
ルノ義ニ通セズメ云ク叔父ヲ敬スヘキトキハ敬シ弟ヲ敬スベキトキハ敬スルハ我レヨリ由
ルニアラザレバ義ハ公都子曰冬日則飲湯夏日則飲水然則飲食亦在
決ノ内ヨリモス外ニアリ

外也 公都子ガサトセ臣季子イニダ合点ノユカザルヲ見テ孟子ノ多クヲタシムノ意ニテラヒテ云クソノ内トスル飲食モ時ノ宜キニシタカフテチカヒアルハ叔父ヲ

敬レ弟ヲ敬スルノ時ノ宜キニヨルト同シナリ然ルトキハ飲食ヲ愛スルノモ亦外ニアリモコレヲ内トスルトキハ敬ノ時宜ニヨルモ亦内ナリトニ章ノ問答オホム子ホ

ボ同シウチカヘノタトヘヲ以テトヒラサトシ仁義ノ内ニアルヲラ 公都子曰告子曰

性無善無不善也 コノ意ハ性ハ善ニモアラズ惡ニモアラズ善惡ノ名ツクヘキナレトコレハ生ヲ性ト云々長クハ性ナリト云ニ同シケレトモサレク

子孟子ノ性善ナリト云ヲ 或曰性可以爲善可以爲不善 性ハソノチラフ如ヤフシタメニ云ヘルナリ

是故文武興則民好善幽厲興則民好暴 文武ハ文武王ニヨリテ善トモ

厲王ナリカヤウノコナルユハ文武ノ君ノ世ニオコリテ仁善ナルトキハ民 或曰有性

善有性不善 アルコトハ善不善ハ人ノ生レツキニ 是故以堯爲君而有象以

瞽瞍爲父而有舜 コノユニ堯ノ聖代ニモソノ徳ニ化セズノ舜ノ弟ニ象カ如

人 如キ聖 以紂爲兄之子且以爲君而有微子啟王子比干 微子ハ庶兄

三ヘタリ俗ニイフゲレヤクハラノ兄ナリ凡ノ子トレバオチナリ誤字アラント 今子曰

性善然則彼皆非與 然レバコノ三説ハ三ナ非ナルカト 孟子曰乃若夫

其情則可以爲善矣乃所謂善也 性ハ善ナレトモコノロニルベキモノナレ

ルモノヲ情ト云情ノ善ナルトハ下ニ三ヘタル惻隱羞惡ナドノ 若夫爲不善

非才之罪也 オトハ才ヲ指シテニアラズ目ノ三耳ノキ、ロノイヒ手ノトリ足ノアリ

才ハ情ニヨリテ用ヒ情ハ才ニヨリテ行ハル人性ステニ善ニ 惻隱之心人皆

有之羞惡之心人皆有之恭敬之心人皆有之 是非之心人皆有

之 上ヲウケテ人トノ情ノ善ナルトコノ四端ニアラハル惻隱ノ心ハ人ニナ

ハウヤクシト訓スリチギニインギナルト敬ノ外ニ發スルモノ敬ハツクシムト

訓ス物ゴトニ大事々々ト念ヲイレルト恭ノ内ニ主ナルモノ辭讓ハ事ニ切テ恭

敬ハ心ニ切ナリ余ハ 惻隱之心仁也羞惡之心義也恭敬之心禮也

是非之心智也 性ノ善ナルガウゴイテ情ニアラハル、モノナリ前ニ此ノ四ツヲ

仁義禮智ト云ナリ 仁義禮智非由外鑠我也我固

仁義禮智非由外鑠我也我固 仁義禮智非由外鑠我也我固

仁義禮智非由外鑠我也我固 仁義禮智非由外鑠我也我固

仁義禮智非由外鑠我也我固 仁義禮智非由外鑠我也我固

仁義禮智非由外鑠我也我固 仁義禮智非由外鑠我也我固

仁義禮智非由外鑠我也我固 仁義禮智非由外鑠我也我固

仁義禮智非由外鑠我也我固 仁義禮智非由外鑠我也我固

有之弗思耳矣

錄ストハ金ヲ火ニテトカス云意ハ仁義礼智ノ性ハ金ヲ

内入リタルモノニアラズ天ヨリウケ生レテ我が固有ノ故曰求則得之舍

則失之故曰孟子ノ語ナラン故ニ心ヲイレテ思ヒカラヲ用イテ求レバコレヲ得

或相倍從而無算者不能盡其才者也倍ハ一倍從而五倍ナリ得ルト

能スル処ヲツクスアタハザルニヨリテナリ詩曰天生蒸民有物有

則詩ハ大雅蒸民ノ篇ニ出タリ詩ニハ蒸民ヲ蒸ニ作ルモロクナリ物ハ事ナリ

法則アリ耳目アレバ聰明ノ徳民之秉彙好是懿徳秉ハトナリ詩ニ夷ヲ

其知道乎故有物必有則民之秉彙也故好是懿徳孔子コノ詩ヲ贊

詩ヲツクルモノハ物ノ道理ヲヨク合点シタルカ此ノユヘニソノイヒタル如クスベテ

一物アレバカナラズ一物コトニ法アリコレ萬民ノ當性ナルユヘニ此ノ美徳ヲ互ニヨミセズト

云フナレト蓋シ夫子ハ人ノ常性ニヨリテ情善ナルヲアラハス惻隱羞惡等ノ

ルヲアカシ又ト々処ノ來歴アルヲ示スコレヲ知レハ公都子ガ問フ処ニ

説モ辨セズノ明ナリ程子ノ注ニ性ハ即理ナリ理ハスナハチ善元氣ヲヨリ衆人

ニ至レミテ一ナリ然レバウクル処ノ氣ニ清濁アリテ善ハスメルヲウクルモノハ

賢トナリソノニコレルヲウクルモノハ愚トナルトメニ善コレヲオサムルトキハ氣

ノ清濁トナク皆善ニ至リ性ノ本体ニカハルベシ湯武ハコレヲ身ヨリスト云コレナリ

孔子ノモフ下愚不移トハスナハチ自暴自棄ノ人ナリ又云ク性ヲ論メ氣ヲ論セサ

張子ノ説ニ人ニテ形アリテ氣質ノ性アリヨクソノ初カヘルトキハスナハチ本來ノ天

地ノ性存ノ失ハズ此ノユヘニ氣質ノ性ハ性トセズソノ生レツキニダズト

孟子曰富歲子弟多頼凶年子弟多暴

今夫粢麥播種而擾之

其地同

孟子曰富歲子弟多頼凶年子弟多暴

其地同

樹之時又同地モ同シ地ニテ淳然而生苗ノオイ立至於日至之時イキホヒヲ云

皆熟矣日至ハ熟スベキ時日ノ至ルヲ云德ニ出テ三ノ日ニ雖有一不上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

同則地有肥磽雨露之養人事之不齊也上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

同則地有肥磽雨露之養人事之不齊也上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

故凡同類者舉相似也何獨至於人而疑之上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

聖人與我同類者天地ノアイダニ生スルモノ同シキニヨリテ三レバ來タノ生上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

故龍子曰不知足而為履我知其不為黃也黃ハ此ノ方ニテ

履之相似天下之足同也龍子ガ言ニヨリテ孟子云ク上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

口之於味有同者也足ノ似タルバカリニアラス易牙上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

先得我口之所者者也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

如使口之於味也其性與人殊若犬易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

馬之與我不同類也則天下何者皆從易牙之於味也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

至於味天易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

是天下也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

惟目易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

於聲天下期於師曠是天下之耳相似也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

亦然易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

至於子都天下莫不知其姣也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

不知子都之姣易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

故曰口之於味也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

有者無目者也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

故曰口之於味也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

同老焉耳之於聲也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

同聽焉目之於色也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

有同美焉至於心易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

獨無所同然乎易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

以上ノタトヘ物ヨリ人ヒ及ヒ人ヨリノ心ニ至ルハヤウクニ粗ヨ易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

孟子曰孟子易牙ハ古ノ味ヒヲヨクレルモノナリ相公ノ臣ニ上ノ富歲凶歲ノ説ハ習俗ヨリテ性ノチカラ

七

ナ善ナルモノユヘロノアチハヒニラケル耳ノキ、目ノミル処スベテ同シ心之所同然

者何也謂理也義也カクノ如ク人々三十一味同心スルハナニユヘツト云ニ事

ヲスヘラクハ義ナリ理ハ体ニメ義ハ用ナリ聖人先得我心之所同然耳

テ易牙ガ人々ノスク味ヒラ故理義之悦我心猶芻豢之悦我口芻豢ハ

豕ノ類ナリイヅレモ肉味ノ美ナルモノナリ理義ハ人々ノシカスル処ナルユ我ガ身ニ

コラ行ヒ我ガ心ニコロヨシトスルコト牛羊犬豕ノ我ガ口ニムクヨロヨロバムルカ如シト

程子ノ説ニ孟子ノ此ノ語親切ニ味ヒアリ理義ノ心ニコヨキコト實ニ芻豢ノ口ニ

ナクコレヲ知ラサルモノハ目ナキ人ノ子都ガカホヨキヲレザルガ如シ人ノ同類

巨牛山之木嘗美矣牛山ハ齊ノ東南ニアル山ナリムカシハ此ノ山ノ木ハエビゲリ

牛山ノ木トヘラアゲテテウルハレカリシト此ノ章ノ意ハモト心ヲヤシナフノ工夫ヲ論シ

夜之所息雨露之所潤非無萌蘖之生焉是トハ牛山ノ木ヲサス息スト

ノメ蘖ハメノ斤ワキヘ出ルヲ云ナリ云意ハ山モキリアラサレテ今ハウルハレトハセ

濯也濯々ハ草木モ生セズノハゲ山ノ如クナルヲ云上ノ通りナレハ切リアラレ

人見其濯濯也以爲未嘗有材焉此

豈山之性也哉人ソノ濯々トハゲタルヲミテムカシカラ林木ノアラザリレ山ナリ

如クナ雖存乎人者豈無仁義之心哉コレヨリ下ハ人心ノトリハナレニスル

猶斧斤之於木也且且而伐之可以爲美乎上ノ其ノ字ハソノ人ヲサス良心

其好惡與人相近也者幾希則其且晝之所爲有格亡之矣平旦ハ

其好惡與人相近也者幾希則其且晝之所爲有格亡之矣夜アチ

其好惡與人相近也者幾希則其且晝之所爲有格亡之矣夜アチ

其好惡與人相近也者幾希則其且晝之所爲有格亡之矣夜アチ

其好惡與人相近也者幾希則其且晝之所爲有格亡之矣夜アチ

方ノクラキトキヲ云 措ハカセナリ 手カセ足カセト云テ此ノ方ノ手 錠ノ類ナリ
 罪人ニカセラツケテハタラカセザルヲ云亡ハウチフナリスベテ物ヲソナヒスツルヲテ
 コノ意ハ良心私欲ニソコナハルトイヘ 凡人身日夜ノ間生々ノ氣ニヤレハレテ良心
 ナラ生息スル処アリコトニ夜間ノ生スル処タタキヲ以テ平且イニタ物トミレハサルトキニ其
 氣スミツリテカノ善ヲコノ三惡ヲニクム同然ノ良心人々凡ニ相近キノモノスコシ
 キアリニカルヲ其アサヒルノアイダノ 私欲ノナス処ニタ措亡ノ是ヲソナラハ山木ス
 キラレテナラ萌蘖ノ生スル 措之反覆則其夜氣不足以存 反覆ハウチ
 ラハ牛羊ニクワスルカ如シト 措之反覆則其夜氣不足以存 反覆ハウチ
 コナラニナルコトヒルノスル処ステニユフベノ生スル処ヲソコナフユヘニコヨヒノ生スル処又
 ヒルノスル処ニカツコトアタハスカクノ如クニ展轉ノ相ソコナヒ夜氣ノ息スルコトウ
 クナリテツイニ仁義ノ良心ヲ 夜氣不足以存則其違禽獸不遠矣 違ハ
 タモキモモリテ存レ得ルナラズ 夜氣不足以存則其違禽獸不遠矣 違ハ
 シツカニ氣スミタルツツ良ノ心ヲヤレナラフニ足ラザルトキハ 人見其禽獸也而以
 人ノ形ハソナハリテモ好惡人ト近カラズノ禽獸ヲ去ルコト遠ク 人見其禽獸也而以
 爲未嘗有才焉者是豈人之情也哉 他ノ人カトリクタモノニ同レヤウ
 ハレモヨリ蓋ヲナスノオナキモノトオモヘリ オハ性ニ本ツキテ性アラハレテ情
 トナルコトヲレラス人ノ情ハモト善ニノ人ノオハモトヨク善ヲナスニ定マレリ善ヲスル
 コトアタハザルハ且晝措亡スルユヘナリ是レナニレニ人ノ情ナラニヤト 故苟得其
 此ノ段ニ上ノ見其濯也ノ一段ニ合セテ云ナリ 故苟得其
 養無物不長苟失其養無物不消 養フトハウエタリツツチラカケタリスル
 長ストハソダツツ消ストハ微ニノキユルヲ

云コレ山木人心ツノ 孔子曰操則存舍則亡出入無時莫知其與惟心
 之謂與 操ルトハヒキタツル意ナリ 舍ツトハハナチラク義ナリ 亡ストハ失フ義ナリ云
 意ハトリアゲル時ハ存メヨ、ニアリハナチスツレバ然チニ失ヒ去ルモレ操テ存ス
 ルコトアタハサレバソノ出テ物ヲ外ニ追フトタマノ入テ内ニ存スルトミナ 荒忽トノ常ノ時
 ナクヨリテ又定レル處知ラレズカリノ如クナル者ハコレタ、人ノ心ノナリト夫子人心ノトリ
 トノガタキ体ヲカタトリテコレヲ操存セズアルベカラサルコト示セリ 孟子スナハチ上文存
 養ノ意ニヨリユレヲ引テオモヘラク人心ノ靈明不測ナルトリ失フヤスク保チ守ル
 カタレ學者時トノ存養ノ功夫ヲ用ヒスト云フナカルヘシトモレヨク養ヒ得テ神清氣定
 ルト常ニ平且ノ時ノ如クナラレムバ此心常ニ存メユクト仁義ニアラスト云コトナシ程子ノ云
 クコレヲ操ルノ道敬以テ内ヲ直クスルノミナリト 季氏ノ云ク子孟子コトノ夜氣ノ
 説ヲ發ス學者ニライテ極メテカアリ宜クツラク深ク省スヘシ ○孟子
 子曰無或乎王之不智也 王ハ齊王ヲサスナルベシ云意ハ王ノ無智 雖有天
 下易生之物也一日暴之十日寒之未有能生者也 此ヨリ下ハ不智ナル
 スキ物トハ天下ノ内ニテ尤發生レ 吾見亦罕矣吾退而寒之者至矣 我王ニミ
 ヤスキ物ナリ草木ノ類ニツキテ云 吾見亦罕矣吾退而寒之者至矣 我王ニミ
 レナルハナチ一日コレヲ暴ルカ如シ我退テ後ハコベツラヒテ王ノ私欲ヲムカヘ
 タスクルトモカラ来ツドヒテ常ニ左右ニアリチ十日コレヲ寒ムカ如シト 吾如有
 崩焉何哉 王タマノ良知ノキサスコトアリトイヘ凡一暴ト寒ノ中ニテ
 今夫奔之

為數小數也

此ヨリ下ハ又タトヘラアケテ上段ノ意ヲカサ

不專心致志則不得

也

心ヲ專ニシテ他ノ事ナク志ヲキハメテ精ク求

弈秋通國之善弈者也

弈秋ト古ノ善シテハ小藝ナレバコレヲ成スヲ得ス

為聽

一人

雖聽之一心以為有

鴻鵠將至思援弓

繳而射之

鴻鵠ハミナ鳥ニ似テ大イナル鳥ナリ繳トハ矢ニ絲ヲツケ鳥ニイカケテトヒオトスナリ此人ハ弈秋カ教ラキトイヘ尺又一カタノ心ニ鴻鵠ワタリキツ

雖與之俱學弗若之矣

今テ一人ト共ニ奕マナフトイヘタルハ其藝ツイニカノ人ニシカス

是其智弗若與曰非然也

コレ問答ノ詞ヲマウケテオモヘラク二人同學ノ一人ヲ習フノヲソカナルニヨリテツトコレヲ以テ不知ナル故ヲアカスソレ亦諷諫ノ意ナルベシ

習フノヲソカナルニヨリテツトコレヲ以テ不知ナル故ヲアカスソレ亦諷諫ノ意ナルベシ

范氏ノ云ク人君ノ心ハタゞ養フ所ニアリ君子コレヲ養フニ善ヲ以テスル時ハ則チ智アリ小人コレヲ養フニ惡ヲ以テスル時ハ則チ愚ナリ然レバ賢人ハ蹊ミヤスク小人ハ親シヤスコレヲ以テ寡キハ勉キニ勝ツアタハス正キハ邪ナルニ勝ツアタハス古ヨリ國家治レル日常中ニ少ク亂ル日常ニ多キト蓋シコレヲ以テナリ

欲也一者不可得兼舍魚而取熊掌者也

此章人ヲメ差惡ノ心ヲ失ハサラレムルヲ

亦我所欲也義亦我所欲也二者不可得兼舍生而取義者也

此章人ヲメ差惡ノ心ヲ失ハサラレムルヲ

生亦我所欲所欲有甚於生者故不為苟得也

此ヨリ下ニ段ハ上文ヲ舍リ義ヲ取ルニシテ生ヲ存スルモ亦ワカ欲スル所ナリ死ニ就キテ義ヲ立ルモ亦ワカ欲スル所ナリサレド義ハ生ヨリモ重キ故ニ之ヲ得ル時ハ必生ヲ去テ義ヲ取リ

死亦我所欲惡所惡有甚於死者故患有所不辟也

コレ上段ヲウラガレテ

如使人之所欲莫甚於生則凡

死ヨリ甚キ者ハコレ義惡ノ真情ニ即亦

可以得生者何不用也

此ヨリ下ハ又上文ノ意ヲクリ及レテ發明ス此上下ノ段ハ下文アリテカ用ヒ行ハザラン

使人之所惡莫甚於死者則凡

由是則生而有不

由是則可以辟患而有不為也

コレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

ハコレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

ハコレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

ハコレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

ハコレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

ハコレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

ハコレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

ハコレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

ハコレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

ハコレ上ニ段ノコトヘナリ由是ト

有之賢者能勿喪耳 テ云コト故ニ理義ノ良心羞惡ノ真情ハ賢者ノミコレアル

一 簞食一豆羹得之則 テ云コト故ニ理義ノ良心羞惡ノ真情ハ賢者ノミコレアル

生弗得則死 此ヨリ下ハ羞惡ノ心人ミナコレアルレラ明ニテ示ス簞ハ飯ヲモル

噤爾而與之行道之人弗受 噤トハ人ヲイハレシメシカハ聲ヲ

蹴爾而與之乞人不屑也 蹴ハフムナリ乞人ハ乞ガ人ナリ足ニテマミヤルヤ

萬鍾則不辨禮義而 萬鍾ハ萬石ノ鍾也

受之萬鍾於我何加焉 コレ人死ニセシテ噤ノ食ハ無礼ヲ惡ミテウケザル

為宮室之美妻妾之奉所識窮 コレノ萬鍾オモシトイヘ庄亦身ノ外ノ物ナリ

乏者得我與 此段人ノ羞惡ノ心ヲ忘ルノ由緒ニ此ニツテ以テ例ヲクルナリ一ツ宮

受今為所識窮乏者得我而為之 為之トハ三タリニ萬鍾ヲウケルコト

鄉為身死而不受今為宮室之美為之鄉為身死而不 郷トハ郷ノ

受今為所識窮乏者得我而為之 是亦不可以已

乎此之謂失其本心 是トハ上文ノ三ツノ者ヲサス此ニツク皆ワカ節

孟子曰仁人心也 仁ハ人心ノ徳ニツナレル理ナリ然レバ

此身ノ萬事ニ應スル性ナル源也 源トハ本ノ

故ニ程子ノ云ク心ハ穀種ノ如シ仁ハ則ソノ生ノ性ナリト蓋レバ米穀ノ種ノ如クニ其内 ニ發生ノ性アル

心ニ慈愛ノ理アルハコレ人心ノ徳ナリ 義人路也

置ノ行フノ宜キ所 義人路也

置ノ行フノ宜キ所 義人路也

置ノ行フノ宜キ所 義人路也

置ノ行フノ宜キ所 義人路也

置ノ行フノ宜キ所 義人路也

置ノ行フノ宜キ所 義人路也

置ノ行フノ宜キ所 義人路也

置ノ行フノ宜キ所 義人路也

ナリコレハ人ノ路上云時ハ凡ソ出入往來必由ル所ノ道路ヲ須更モステラクニシテ知ル

哀哉 人モシ其路ヲステテキテコレニ由リシタカフヲ知ラザレバユク所三ナ崎嶇荆棘其心ヲ放チヤリテコレヲタツ子カヘスコトヲ忘ルルバ百歩ヲ行キテ自其身ノ在ル處ヲ

求之有放心而不知求 程子云ク心ハ至リテ重シ雞犬ハ至リテ輕シ雞犬ノ求ルコトヲ知ラス豈ツソノ至輕ヲ愛メ至重ヲ忘ルニヤ思ハザルノミト況ヤ雞犬ノ故テ

他求其放心而已矣 九ク學問ノ事目ハ致知カ行ニ起サシクアリトヘシソノ由リテ道トスル一歩ハ他ノ方法ナレバソノ放心ヲ求ルカダ

孟子曰今有無名之指屈而不信 非疾痛害事也 指カハ手ノ五去リ下指ノ上達ス

如有能信之者則不遠秦楚之路為指之不若人也 秦ハ西楚ハ南ニナ中國ヨリ遠キ國ナリ云意ハモレヨク指ヲノフル者アラハ必遠路ノ勞ヲハカラスノユカシコレタニ指ノ入ニシカガルガタメナリ

不若人則知惡之心不若人則不知惡此之謂不知類也 不知類ハ牛類ニ後ヒ輕キ者ハ輕キ類ニ後フヲ知ラズゴコレト

欲生之皆知所以養之者 拱トハ兩手ニテ圍ムホドノ大イサラ云把トハカタナニテニ至テ身ニ至リテハ及リテニレヲ養フスヘク知ラズト上立早ハ指ニ對スル故ニ心ト云コニハ桐梓ニ對スル故ニ身ト云サレ身ノ守ノ内ニ心志モ威儀モ兼タリコレヲ養フ人存養ヲ大ニシ

愛身不若桐梓哉弗思甚也 云意ハソノ本心ニハ豈身ヲ愛スルコト桐梓ニシカガランヤ然ルニ今カクノ如クナルハコレニ及リテ思

孟子曰人之於身也兼所愛 兼所愛則兼所養也 一身百體カ心志口腹四肢百體イツレモ兼テコレヲ愛シ兼テコレヲ養フ

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

兼所愛則兼所養也 子テ愛重スル

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

兼所愛則兼所養也 子テ愛重スル

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

兼所愛則兼所養也 子テ愛重スル

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

兼所愛則兼所養也 子テ愛重スル

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

兼所愛則兼所養也 子テ愛重スル

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

兼所愛則兼所養也 子テ愛重スル

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

兼所愛則兼所養也 子テ愛重スル

養也

此段ハ即兼テ愛養スルノ意ヲトク又ハ一尺一寸ノ

所以考其善不蓋口

者豈有他哉於已取之而已矣

此意ハソノ善キトヨカラザルヲ考ヘ

有小大無以小害大無以賤害貴

此段ハ上文ノ已テ取ルノ意ヲトク

賤者者ハ口腹ノ類ナリ心ハ一身ニ主トシ

用ヲカ子百体各一用ヲナスヨリメ大少ヲワク

其小者為小大養其大者為大人

此段養ヒテ善キトヨカラザルトトク大

體ヲ養ヒテ大體ニラロカナル小人ト云ヨク大

體ヲ養ヒテ小體モ其序ヲ以テコレニ及フヲ大人ト云

檇棘則為賤場師焉

場ハ樹木ヲウヘラク處ナリ其奉行ヲ場師ト云檇棘

モ良材ヲステ小木ヲ養フハソノ賤キ物ヲ養フニヨリテコレヲ賤場師

ト云ナリ此ヨリ下二段ハミナ小ヲ以テ大ヲ害フノ事ヘテアラゲ

失其肩背而不知也則為狼疾人也

モレ一指ノ小ヲモリヤシナヒテ有背

者コレヲ狼疾ノ人ト云ナリ

狼ハヨク其身ヲカカリミル者ナレ疾メ

人賤之矣為其養小以失大也

モツハラ飲食ヲ以テ口腹ヲ養フノ事知ル者

疾ノ人ノ如シ口腹ノ小キナルヲ養ヒテ

心志ノ大イナルヲ忘ルカタメナリ

適為尺寸之膚哉

云意ハモレ口腹ヲ養フ人亦ヨク心志ノ養ヒラワスレハ口腹

クナルノミトセシヤ然レモ小ヲ養フ者ハ必大ヲ失ヒテ

ツイニ小人ノ境場ヲ出ルヲアタハサレバナリト

或為大人或為小人何也

公都子ガ問上章孟子ノ言ヲウケ来リテナリ

ト云何

孟子曰從其大體為大人從其小體為小人

ハ心ヲ云コレニ從フトハ何事モコレヲタメテ主事トスルグ小體トハ耳

目ノ類ヲ云コレニ從フトハ何事モコレヲ欲スル所ノマニスル

其大體或從其小體何也

云音ハ同クコレナルニ或ハ大體ニ從ニ或ハ小體

目之官不思而蔽於物物交物則引之而已矣

官トハツカサドル所ヲ云耳ハ

視ル一ツカサドルサレモ精神コニ寓セザルヲ以テ思フナレ

ハ時ハ則コレニ應メソノ邪正ヲカスヨリテ常ニ外物ノ欲ニオホヒク

ナレ耳目身ナリトイハレ亦タ外物ニ同ジ而メ又外物ノ

欲来リテ此物ニ交ル時ハコレヲ辨ニ出シ去リ難カラヌナリ

心之官則思思則

心ノ官ハハナレテ思フ

欲来リテ此物ニ交ル時ハコレヲ辨ニ出シ去リ難カラヌナリ

心ノ官ハハナレテ思フ

心之官則思思則

心ノ官ハハナレテ思フ

心之官則思思則

心ノ官ハハナレテ思フ

心之官則思思則

心ノ官ハハナレテ思フ

心之官則思思則

心ノ官ハハナレテ思フ

心之官則思思則

心ノ官ハハナレテ思フ

得之不思則不得也 心ノツカサドレ所コレ思慮ニメヨク砂体ノ柱牢トナリ 萬事ヲ裁

ヲ得モレ思慮セザル時ハタゞコレ妄念雜慮或反リテ耳目ノ欲ニ從ヒ去ル 此天之所與

我者 耳目心トニツク者ニテ天ヨリ我ニウミア 先立乎其大者則其小者不能

奪也 大イナル者ハ大体心ヲ云小キナル者ハ小体耳目百体ノ欲ヲ云人ヨクマツ其心ヲ

主宰トタテサダメテ事トシ思ハスト云一ナキ時ハ則百体ノ欲コレヲ引キ奪フ

○孟子曰有^リ天爵者有人爵者 爵ハクラ非ナリ天爵ハ我ニ天然ノ貴員フ

上ハ人ノ貴クスル所ヲソワガ思フマ 仁義忠信樂善不倦此天爵也 仁義ハ

德礼智信ヲカ子タリ忠信ハ仁義ノ發見スル所言行一モ信實ナラスト云一ナキ善ハ

公卿大夫此人爵也 王侯モ人爵ナリサレモ典章ハ 古之人脩其天爵

而人爵從之 古人ハ天爵ヲ修行ノ其德成ル時ハ君上コレニ從ヒテ人爵ヲサツク

タメニハセザレ凡人爵ヲ 今之人脩其天爵以要人爵既得人爵而

棄其天爵則惑之甚者也 天爵ヲ修メ以テ人爵ヲ求ル心ステニコレ惑ヒナリニ

始メヨリソノ天爵ヲ修スル人爵ヲ得シ 終亦必亡而

已矣 ツイニハ亦人爵ヲモ必共ニウシナハバカリグト蓋シ天ト人ヲ欺キテ得ル者

ル者ヲイマシム今ハ又天爵ヲ柱テ以テ人 ○孟子曰欲貴者人之同心也

人々ワカ身ノ貴カラマク欲スル其心同シ 人人有貴於己者弗思耳 貴ブベキ

ケレ其貴キニ異ナル所アルヲ知ルベキ 人之所貴者非良貴

也 良トハ本來自然ニヨキ意ナリ人ノ己ニ爵位ヲサツケテ 趙孟之所貴趙孟

能賤之 コレ亦上段ノ意ヲトク趙孟トハ晋ノ卿趙氏ソノカミ呼テ趙孟ト云最權

者ハ趙孟亦ヨクコレヲ奪ヒテ賤クスト 詩云既醉以酒既飽以德言飽乎

仁義也 詩ハ大雅既醉ノ篇ノ詞ナリ詩ノ本意ハ人酒ヲ以テ我ヲエハレメ德ヲ以テ我

トリ乃コレヲ釋ソ云クワガ心仁義ニ飽キ足ルヲイハレト蓋シ 所以不願人之膏

孟子

十四

梁之味也

膏ハフブラ肉食ノ肥タル者ヲ云梁ハアノ類五穀ノ充美ナル者ナリ我ステニ仁義ニアキタルコノ故ニヲツツク人ノ膏梁ノ美味ヲ以テワカバ臆ヲ養

ハマク欲ス

令聞廣譽施於身 令ハヨキ義ナリ聞ハ名聞ナリ廣キ譽レハ即令聞ル心ナリ

所以不願入之文

繡也 文ハ文彩繡ハヌイモノスベテ衣服ノ美ナルヲ云句義ハ上ニ同シ蓋シ心ハ仁義ニアキタリテ人ノ美食ヲアタヘ

子曰仁之勝不仁也

猶水勝火 仁ハ人心本然ノ天理ニ本ツク不仁ハ形氣ノ私欲ヨリ出來ルコノ故ニ仁ノ不仁ニカツハテ水

今之爲仁者

猶以一杯水救一車薪之火也 一杯タメ

一車薪之火

一車ノ薪ノ火ヲ救ヒトメントスルカ如シ

一車ハクルマ

一兩ナリ今ノ仁ヲ修スル者ツノ功ヲ用ルツトメテ大イナル不仁ヲ

熄則謂之水不勝火

仁ヲ修メ不仁ニカツエザルハコ

此又與於不仁之甚者也

仁ヲ修メ不仁ニカツエザルハコ

亦終必亡而已矣

仁ヲ修メ不仁ニカツエザルハコ

孟子曰五穀者種之美者也

五穀ハ最ヨキ者ナリト

爲不熟不如黃稗

黃稗ハ類草テ其實穀ニ似タリ五穀美ナリトイヘ

夫仁亦在乎熟之而已

熟シタルモシカズナラ仁ハ美德ナリトイヘ

必志於穀

射ヲ學ブ者タレトモ亦タ

大匠誨人必以規矩

學者亦必志於穀

規矩學者亦必以規矩

射ヲ學ブ者タレトモ亦タ

孟子曰羿之教人射

必志於穀

必志於穀

射ヲ學ブ者タレトモ亦タ

大匠誨人必以規矩

學者亦必志於穀

規矩學者亦必以規矩

射ヲ學ブ者タレトモ亦タ

孟子曰羿之教人射

必志於穀

必志於穀

射ヲ學ブ者タレトモ亦タ

大匠誨人必以規矩

學者亦必志於穀

規矩學者亦必以規矩

射ヲ學ブ者タレトモ亦タ

法必正道
ベキタトヘヨル

卷四

十五

告子章句下

任人有問屋廬子曰禮與食孰重曰禮重任人又問屋廬子答曰蓋飲食男女人之大欲也然則禮ハ色與

禮孰重曰禮重任人又問屋廬子答曰蓋飲食男女人之大欲也然則禮ハ色與

死不以禮食則得食必以禮乎モレ人飢テソム時人ノ礼アルヲ待テ後食ハシ

食ヲ得カクノ如クナル時モ必礼ヲ守テ死セシカト新迎則不得妻不親迎則得妻必親迎乎親迎下

屋廬子不能對明ニ親ニツユキテ親ソノ妻ヲ迎ヘトルコナリ向義上ニ同シ天心ハ

日之鄒以告孟子屋廬子礼ニ輕重アルコトヲホ、知ルヘシトイヘ孟子曰於答

是也何有ナシ不揣其本而齊其末方寸之木可使高於

岑樓本末トハキリ木ノ上下ヲ云岑樓ハ八山ノトガリタル処ナリ高クソヒタル樓

シアゲテ高樓ヨリモ高カラシムベシトナリ蓋シ守木ハ食色ニターヘ岑樓ハ礼ニタトシ礼

ハモト食色ヨリ重ケレ凡ノ事ト礼トノ本ノ輕重ヲハカラスソノ末ノミラタクラハ其

告子章句下

卷四 孟子

十五

間ニ礼ヨリ事ノ重キヲ重キトシテ金重於羽者豈謂一鉤金與一輿羽之謂哉鉤

金重於羽者豈謂一鉤金與一輿羽之謂哉鉤金重於羽者豈謂一鉤金與一輿羽之謂哉鉤

取食之重者與禮之輕者而比之奚翅食

色之重者與禮之輕者而比之奚翅色重

曰紆凡之臂而奪之食則得食不紆則不得食則將紆之乎

則得妻不據則不得妻則將據之乎

以爲堯舜有諸

孟子曰然

交聞文王十尺湯九尺今交九尺四

寸以長食粟而已如何則可

是亦爲之而已矣

有人於此力不能勝一匹雛則爲無力人矣

然則舉鳥獲之任是亦爲鳥獲而已矣

夫人豈以不勝爲患哉弗爲耳

後長者謂之弟疾行先長者謂之不弟夫徐行者豈人所不能

後長者謂之不弟夫徐行者豈人所不能

哉所不爲也

此ヨリ下ハ堯舜ノ道モツメテ云時ハ孝弟ニスキズメナルキコトヲイヒテ曹文初問ノ意ニ應ズ此段ハ上段ノ意ヲウケテ來リ弟順ノ行ヒヤキ

ヲラ以テ其例 堯舜之道孝弟而已矣

人性ノ徳仁義ヨリ大ナルハ仁ノ道ハ親ヲ愛スルヲ以テ先トス義ノ道ハ

フヲ以テ先トスヨノニツハ孝弟ノ行由リテ立ツ處ノモノナリ孝弟ノ行ヲ推シヒロクテツクシエ

ル時ハ仁義ノ徳ニツイテモ亦盡サスト云フコトナレバ故ニ堯舜ノ至徳大道モ亦孝弟ノ

一言以テコレヲ蔽フヘキナリ陳氏ノ云ク孝弟ハ人ノ良知良能自然ノ性ナリ堯舜人倫

ノ至リナルモ亦コレノ性ニ率カレノ三豈ヨク毫髮ヲモコレニ加ヘンヤ楊氏ヲモヘラク堯舜ノ道大

イナリトイヘコレヲスルコト日用常行ノ間ニアリ高遠ヲ行ヒカキコトアルニアラス世ノ人常ニソノ中ニイテコレト共ニスレ自知らズ覺ヘサルノミト 子服堯之服

誦堯之言行堯之行是堯而已矣子服桀之服誦桀之言行桀

堯ノ衣服言行ハ即チ法服法言徳行ナリ言ハ服ヨリモ深ク行ハ言ヨリモ深ク又上支ヲウケテ聖人ノ事ヲスルモノハ即チコレ聖

人ナルコトキ又コレヲウケテ桀カヲトリアハセ凡ソ善人ト云ランモ惡人ト云ランモ皆

ワカスル處ニアルコトイヘリ蓋シ曹交ガ問フ處淺陋粗率ニ又ソノ長者見テ多ク時礼義

衣冠言動ノ間理ニアタサシク多シ 曰交得見於鄒君可以假館願留而

受業於門 鄒君ニミユルヲ得ハコレヨリテ館舎ヲカリウケテ居リ子ガハ鄒ニ留

又ソノ道ヲ求ルヲ篤カラ 曰夫道若大路然豈難知哉人病不求耳

大路ノ如シソノ人々共ニ由ル處ナレバ知リカキコトニアラス 子歸而求之有餘師

尺人ノ求メテコレニ由ラサルソノ病フル處ナルノミト 居ル處ニ隨ヒ發見ノ師トスヘカラスト云處ナケン必シモコニ留リテ業ヲウケザレトナリ曹交

長者ニミユルノ礼々々シカラズ道ヲ求ルノ心又篤カラスノイタ教ヲ施スニタラスコノ故ニ孟子

尺コレニ教ルニ孝弟ノ大意ヲ以テソノ業ヲ受ルヲモサズ蓋シ行テ餘カアル則チモチヒテ文ヲ

学ノ心コレヲ屑トシテ教諭 公孫丑問曰高子曰小弁小人之詩也

サセルモ亦コレヲ教ルナリ 高子曰小弁ハ小人之詩也

何以前言 何以言之 何ヲ以テカ小人ノ詩ト云フト 曰怨 怨ハ小弁ノ詩ト云フト

高叟之爲詩也 固哉トハ執滯ノ義理人情ニ通セサルコト云高叟ハ高子

此越人關弓而射之則已談笑而道之無他疏之也 越ハ蛮夷ノ遠國ナリ越人

弓而射之則已垂涕泣而道之無他戚之也 越ハ蛮夷ノ遠國ナリ越人

弓而射之則已垂涕泣而道之無他戚之也 越ハ蛮夷ノ遠國ナリ越人

弓而射之則已垂涕泣而道之無他戚之也 越ハ蛮夷ノ遠國ナリ越人

弓而射之則已垂涕泣而道之無他戚之也 越ハ蛮夷ノ遠國ナリ越人

弓而射之則已垂涕泣而道之無他戚之也 越ハ蛮夷ノ遠國ナリ越人

弓而射之則已垂涕泣而道之無他戚之也 越ハ蛮夷ノ遠國ナリ越人

小弁之怨親親也親親仁也 他人ノ悪行ヲ見テハツル人
ウトキ故ニサマテ心ニカズ

凱風親之過小 凱風ハ坤風ノ篇名衛ニ七子ヲモテルヤモアリ
貞節ヲモリカ子テコト人ニ縁セントス
ヨリテ子トモ此ノ詩ヲ多リ子七人アレ母ノ心ヲナクサマテツノ室ニ安シ居ラシムルコトヲ
父ト自責メタリ丑又トフ凱風ノ詩モ親ノヒガナクナル子
ナソ只自責メテ親ヲウラミサルトコナラ小弁ノ怨非大ナリ 曰凱風親之過小

者也 アヤツツ処ツノ身ツニ
カレル故ニ小キナリ 小弁親之過大者也 正后ヲレリクテ太子ヲスルハ
國家ノ大喪ナレバ過大イ

親之過大而不怨是愈疏也 親ステニワラ疏シラレタルニワレ親ノ過大イ
見テモ心トセス怨ニサレハワレ又コトヲヨクウト

親之過小而怨是不可磯也 磯トハ水ノナカヒテアタル石ナリ水急ナルハ
怒リサカクハゲレコト石ヲ母ニタヘ水ヲ子

而慕 舜ノ前ニ見ヘタリ舜ノ親ニ愛セラレスノ身ヲウラミ親ヲ慕フ一五ノ情多
シト慕フハ至極ナリト云ルハ親ヲウラミルニアラス

也 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト 愈疏不孝也不可磯亦不孝 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト

也 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト 孔子曰舜其至孝矣五十 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト

矣 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト 宋牼將之楚孟子遇於石丘 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト

曰先生將何之 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト 曰吾聞秦楚構兵 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト

所遇焉 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト 曰軒也請無問其詳願聞 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト

其指說之將何如 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト 曰我將言其不利也 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト

曰先生之志則大矣先生之號則不可 トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト 先生以利

然然レモノ説キイル、処ヲ利ヲ以テトナトスルハハカルヘカラスト トカメ怨ルハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトレト

說秦楚之王秦楚之王悅於利以罷三軍之師師軍旅ナリ秦楚

ヲヤムルノ利アルヲキ、イレハソノ利ヲ以テ三軍ノ衆徒ヲヤメソ是三軍之士樂罷而悅於利也カクハ

三軍ノ兵士モイクサノヤムヲ樂ムニツキテハソノ利ニツクカ故ナルヲ見テ亦ニナリ悦ントゾ為人臣者懷利以事其

君為人子者懷利以事其父為人弟者懷利以事其兄懷利トハ

念ニカクルソ凡ソ人臣子弟タル者三ナリ利ヲイ是君臣父子兄弟終去仁義

懷利以相接然而不亡者未之有也カクハ一國ノ君臣父子兄弟

利ヲイタキテ相ヒレハソノ互ニアラフヒハウニ至ルヘシ先生以仁義說秦楚之王

秦楚之王悅於仁義而罷三軍之師是三軍之士樂罷而悅於

仁義也為人臣者懷仁義以事其君為人子者懷仁義以事其

父為人弟者懷仁義以事其兄是君臣父子兄弟去利懷仁義

以相接也然而不王者未之有也何必曰利向義ニテ上文ニナスラヘ

惠王ノ篇ノ首章トホ相似タリ○此ノ章云ハ兵ヲヤメ民ヲヤスルノ事ハ一ツナレシク

心ニ義ト利トカハリアリテソノ義ニ興ルトハ利ト異ナル処アリト學者深ク察シ明ニ

辨スヘキ 孟子居鄒季任爲任處字季任ハ任ノ弟ナリ処守ハ留守ナリ

以幣交幣物ヲ孟子ニラクリ受之而不報不報トハユキニテ拜謝セサルニ益シ

處於平陸儲子爲相以幣交受之而不報平陸ハ

邑ノ名儲子ハ齊ノ宰相ナリ己孟子平陸ニテ他日由鄒之任見季子他日孟

ト鄒ヨリ任ニユ 由平陸之齊不見儲子孟子平陸ヨリ齊ノ國都ニキ

廬子喜曰連得間矣間トハスキマヲ云子孟子ノ事ノ同キニコレヲ処置スル処異

問曰夫子之任見季子之齊不見儲子爲其爲

相與云心ハ儲子ハ相タリ季子ガ君ニカハリテ留守タルノ責曰非也問フ処ノ如ク

書曰享多儀儀不及物曰不享惟不役志于享書ハ周書洛誥ノ

上ニ獻ルヲ云儀ハ礼ナリ物ハ幣ナリ云心ハソレ享獻ニハ礼意アツク多シモレ享ストイハ礼

礼意ノウヤクシキ一幣物ニ及ハズノスクナケレハ則コレヲ享テ享ニラスト云コレヲノ恭敬ノ志ヲ

孟子

享三用ヒサ多ク其ノ不成享也 孟子書ノ心ヲ釋シ云クコソノ享礼ヲソナヘ成サ、屋

廬子悦ルヲ義ヲキ、得タ 或問之 或人イマタソノ義 ヲサトラストナリ 屋廬子曰季子不得

之鄒 季子ハ君ノタメニ留守タルヲ以テ増テコエテ他国ニユクテ得ス 儲子得之平

陸 儲子ハ国相タルノミニテ境内ニユクテ得タリサレ 幣使ノ後ツクニ來ラスノ誠

教誨セサルノ 淳于髡曰先名實者爲人也 名實トハ實ハ事功ナリ即コレ功

求ルカ爲ストハ人ヲ救フ 後名實者自爲也 後ニストハユルカセテ求メサルナリ自

之仁者固如此乎 卿ハ諸侯ノ上大夫ナリ 大国ニ三卿アリ 孟子齊ニ卿タレ 臣

不以賢事不肖者伯夷也 孟子曰居下位 湯ハレメ伊尹ヲ得テ則コレヲ築ニス、

五就湯五就桀者伊尹也 湯ハレメ伊尹ヲ得テ則コレヲ築ニス、

不惡汙君不辭小官者柳下惠也 事前篇 三子者

不同道其趣一也 三子ノ清任和ソノ由ル処ノ道ハ各異ナリ 一者何也 喜説

一句ヲ髡カ 曰仁也君子亦仁而已矣何必同 仁者ハソノ心ヲ設ルコト少シ私

トヒトス 曰仁也君子亦仁而已矣何必同 仁者ハソノ心ヲ設ルコト少シ私

フ者ナリヨリテ云ク君子ノ出処進退時ニヨリテソノ迹同レカフストイヘ 臣ソノモムキムカフ

爲臣 子柳ハ即泄柳ナリ爲臣トハ 魯之削也滋甚 此時魯ノ鄰国ニケツリ上ラ

若是乎賢者之無益於國也 賢者国ニ任テソノ益ナキコトカクノ如ク多ク者カト

見エ 不用賢則亡削何可得與 此ノ二段云心ハ賢者ノ国ニアルヲハコレヲ用ル時ハ

多ク 不用賢則亡削何可得與 此ノ二段云心ハ賢者ノ国ニアルヲハコレヲ用ル時ハ

天下ニ覇タルニモス至ルコレヲ用ル時ハ則チ国七

王豹ハ衛人ヨ

ク歌ウタフ

曰昔者王豹處於淇而河西善謳

曰昔者王豹處於淇而河西善謳

淇水衛ノ川ノ名河西ハ即衛ノ地ヲサシテ云
ノノ國俗キナラフヒテ亦ヨクウタヘリ 縣駒處於高唐而齊右善歌

齊ノ人ヨク歌フ 讒ニ對シテ云時ハ謳ハ歌ヨリモ曲折多キナリ高唐ハ多キキ
齊ノ西邑ノ名齊右トハ即齊ノ西邊ヲサス句義上ニ同シ 華周杞梁之

妻善異其夫而變國俗 華周杞梁ニテ齊ノ臣合戰ニウチヅニスソノ妻夫ノタメニ
哭スル声カナシニフカシ國俗コレニ變化ノ亦ニナヨク哭サ

レハ華周ガ妻ノ哭ク傳記ニニハ蓋シ杞梁ニ帶テ云ナルベシ此ノ 有諸内必形諸
二段歌哭ノ小シキナルモ必スヨク人ヲ化スルノシルシアルヲ云

外爲其事而無其功者髡未嘗觀之也 云ハ内ニ才德アル者ハ功業必外
ニアラハルヲ事ニ施シテソ

功ナキ者ヲウレシムダ 是故無賢者也有則髡必識之 上ラウケテ云コノ故ニ
カツテコレヲミスト トカク齊國ニハ賢者

ナキナリモコレアラズ必ソノ功業見ユキホトニソレ必スコレヲ知ラント云ハ孟子ノ齊
ニ任タル間ニ何ノ功業モナレ賢者トスルニタラスト蓋シ髡イタカツテ仁ノ本義ヲ知ラ

ズ亦イタカツテ賢者進退ノ深意ヲ知ラス 曰孔子爲魯司寇不用從而
ヨリテヒタスラ功業ヲ云フコトカクノゴトシ

祭燔肉不至不稅冕而行 從而祭トハ魯ノ君ニ從テ郊ノ祭ニアツカル燔
肉ハ祭ニヒホキナリ冕ハ祭服ノ冠ナリ天子魯君

司寇トナリテ相ノコラテ子行ヒ玉ヲ國中ヲサミリテ執ツクナラシトス齊ハソノ國ナ
故ニアラセトラレシコラテ女衆ヲツクリ魯ニテコラテトハス季桓子魯ノ君ト

共ニユキテコレヲ見テ政事ニラコタレリ子路夫子ニ官ヲステテ國ヲ去リ玉ヘトスム夫ナ
ノ玉ハ去ルコトヲツクベカラス魯君今郊ヲ祭ントス燔肉大夫ニクルコト式ノ如クナラハ

留リテ居下然ル処ニ魯ノ君臣ツイニカノ女衆ヲツケイレ又郊ノ祭リニ燔肉イタラス夫
子ソノ祭ニアツカリ玉ヒケルガヲハリテカヘリ玉フトヒトシクツノ冕ヲスクニ及ハスメ去リ玉ヲ

不知者以爲爲肉也 人夫子ノ國ヲ去リ玉ヲ見テソノ心ヲ知ラサル
者ハタラ臘肉ヲ得玉サレ怨ミナリト思ヘリ 其ハ知者

以爲爲無禮也 心ヲ知ルト云者ハ臘ヲ大夫ニラツカサル君ノ無礼ナ
ル故ニコレヲトカメテ去リ玉フトコレ亦イタラズ實ヲ知ラス 乃孔子

則欲以微罪行不欲爲苟去 夫子ノ魯ヲ去リ玉ヲ言趣ハ蓋シ魯ハ父母ノ國
ルキ故テクモ苟クモミタリニ去ルコラモ欲セズコノ故ニ女衆ヲツクタルガタメニ去リ玉

ハス郊ニ臘肉至ラサルヲバワカ祭リニ從ヘル間ニ失礼アリテ君トカメ玉ヲ故ナレハ
ナレテ自微キ罪ヲ得テ去リ玉ヲナリツク去ルヘキ幾ヲ見ルコトハ明矣ナリト

爲衆人固不識也 凡ソ君子ノスル処ハ衆人モトヨリコレヲ知ラスト云ハハワガ
行フ処ノ心ハナシラノヨク知ル処ニアラストナリ 子孟子

曰五霸者三王之罪人也 五霸トハ春秋ノ時諸侯ノカシラトノ會盟ノ主人
トナレ云齊ノ桓公晉ノ文公秦ノ穆公宋ノ襄公

楚ノ莊王コレナリ古記ニハ夏ノ昆吾殷ノ大彭豳韋周ノ齊桓晉文ヲモ五霸ト云サレ
レコニハ前説ヲ用フヘシ三王ハ夏ノ禹殷ノ湯周ノ文武ヲ云五霸ハソノカニ天下ノ治ニ

功アリトイヘレ三王ノ法ニハソムキタル 今ノ之諸侯五霸之罪人也 今トハ孟子ノ時
ナル故ニソノ罪ヲ負ヘル人ナリ 蓋シ戰國ノ諸

侯五霸ノ法ヲ犯ス故 今之大夫今之諸侯之罪人也 今ノ大夫ハ諸侯
ニ又ソノ罪人ナリ 今ノ惡ヲミチヒク

ニヨリテ又天子適諸侯曰巡狩諸侯朝於天子曰述職春省耕而補不足秋省斂而助不給

入其疆土地辟田野治養老尊賢俊傑在位則有慶慶以地

入其疆土地辟田野治養老尊賢俊傑在位則有慶慶以地

老失賢培克在位則在讓

不朝則貶其爵再不朝則削其地三不朝則六師移之

是故天子討而不伐諸侯伐而不討

五霸者搆諸侯以伐諸侯者也故曰五霸者三王之罪人

也五霸ハソノ威勢ヲ張リ私ニ諸侯ヲヒキツラテワレシムク諸侯ヲセメツチ天子ノ命ヲ用イヌコノ故ニ三王ノツミト云フナリ

五霸桓公爲盛

葵丘之會

諸侯東牲載書而不歃血

初命曰誅不孝無易樹子無以妾爲妻

再命曰尊賢

三命曰敬老慈幼無忘賓旅

四命曰士無世官官事無攝取士必得

命

尊賢

敬老慈幼無忘賓旅

士無世官官事無攝取士必得

命

士無世官官事無攝取士必得

命

命

命

無專殺大夫

キ官ヲ子孫ウケツ多ク時ハ不才ニシテ職ヲマヤル者アル故ニ必スシモ世
世ニセサレトナリ又官ノ職一人ヲ以テ他事ヲカヌル時ハヲロソカナルアル

故ニヒロク賢オラ求メテ各ニ事ヲツカサトラシムヘシトナリ又凡ソ主ヲ取ルル必クオラエラ
ヒ得ヨトノ諸侯ノ大夫ハハシメ天子ノ命ヲ以テラク故ニホシイマニ殺スコトヲ得スモ罪アラ

ハ天子ノ命ヲ請ヒウ 五命曰無曲防無遏糴無有封而不告 曲防トハ
ケテ後ニ殺スヘシトナリ

タメニ水ヲタクハ又大水ヲフセク者ナリ然ルニコレヲ私曲ニ早ニ水ヲシメラキ水ニ外ヘ
ハ子ヤリワカ国ノミヲ利ノ鄰国ヲサメタルナカレトナリ又凶年ニ外ヨリ米買フコト

メズン出シ賣ルヘシトナリ又私ニ諸侯ヲ封シ大夫ヲ邑ニ封シ
天子ニ告サルコトナカレ必ス王命ヲウケテ後ニ封スヘシトナリ 曰凡我同盟之

人既盟之後言歸于好 上文ラスヘテ云ク凡ソ今ワカ同ク盟フ処ノ人ステニ相チ
カフノ後ハ五ニ和好ノ道ニ帰ソムキヘタルコトナリ

今之諸侯皆犯此五禁故曰今之諸侯五霸之罪人也 今戰國ノ
諸侯ハ三ナ

五霸ノ盟書ノ五命ノ禁戒ヲスハキニ 長君之惡其罪小 君過アルヲ諫ルコトアタスコレニ順
犯ス故ニ五霸ノ罪ト云フ ヒテ長セシムルハ人臣ノ罪ナリトイ

ヘ氏ソノ罪 逢君之惡其罪大 ヒクハ君ノ過イマキササルヲ心ニサキタチテコレヲミチ
ナラ小キナリ

今之大夫皆逢君之惡故曰今之大夫今之諸侯之罪人也 今
夫ハ三ナ今ノ諸侯ノタメニ大罪ノ人ナリ

○林氏ヲモヘラク五霸ノ三王ニラキ戰國ノ諸侯
ノ五霸ニラケルハ今ノ世ノコトナラテソノ罪ヲ得ル此比自コレヲノカルコトヲ得タリ戰國ノ

大夫ノソノ君ヲソコナク罪ハ同シ時ナリ則ソノ罪ヲ得ル此比自コレヲノカルコトヲ得タリ戰國ノ
以テ良臣ナリトシテ厚クシ罪トセスノ反テ以テ功トスナソソレアヤニルヤト 魯欲使

慎子爲將軍 慎子ハ魯人臣ナリ此ノ時魯ヨリ齊ヲウダシト慎子ヲ大將軍トス蓋シ
慎子ハ道理ヲカケミズ只戰ヒテ勝ソノミヲ志シトスル者ナリヨリテ孟子

コレヲ戒ル 孟子曰不教民而用之謂之殃民 民ニアラカシメ礼義ヲ教ヘ
下文ノ如シ

長ニツカフル道ヲイダ知ラレズノニハカニコレヲ用ヒテ敵ト戦ハシムル時ハ民ツ子ニツカ君長ヲ
シタレシツノ難ニ死スルノ心ナキ故ニ戰ヒテソノミヲイサミスハノ氣出來ラスノ必敗トス政ス

ベシヨリテコレヲハ 殃民者不容於堯舜之世 堯舜仁政ノ世ニ
民ニ殃スト云ナリ

一戰勝齊遂
有南陽然且不可 必ストシカタシタトヒ戰ニ勝利ヲ得テツイニ南陽ヲトリタモ
氏然モ且ツ理ニライテ不可

慎子勃然不悅曰此則滑釐所不識也 滑
ナリトソノ理ハ下ニ見ヘタリ

慎子カ名ナリ慎子孟子ノ言ヲキテ顔色勃然
ト悦ヒス云ク此説ハ則ワガコノロカタキ処ナリト 曰吾明告子 明ニ子ニ生ロント

天子地方千里不千里不足以待諸侯 待ストハアヒレラフ義ナリ千里ノ
地ヨリ出ルル財ナケレバ諸侯

ノ朝親聘使ノモテナシタモ
等ノ用ヲソノクルニタラス 諸侯之地方百里不百里不足以守宗

廟之典籍 典ハ常ナリ籍ハ記録ノ書ナリ 諸侯ノ祭祀朝會ノ礼ソノ常アリ季
ニウケ書ニシレテコレヲ宗廟ニラサヌクヨリテ宗廟ノ典籍ト云ナリ此

宗廟ノ典籍ト云ナリ此

宗廟ノ典籍ト云ナリ此

宗廟ノ典籍ト云ナリ此

宗廟ノ典籍ト云ナリ此

宗廟ノ典籍ト云ナリ此

宗廟ノ典籍ト云ナリ此

禮百里ノ地ヨリ出ルル用 周公之封於魯爲方百里也地非不足而

儉於百里 儉不ハトニリテスクサル義ナリ周公天下ニ大勲功アリトイハレハレ魯

百里也地非不足也而儉於百里 太公之封於齊也亦爲方

百里者五 今魯ノ国初封ノ地ヨリモ大イナル五倍スト 子以爲有王者作則

則魯在所損乎在所益乎 彼ヲトリテ以テ此ニマフル一モ 況於殺人以求之乎

君子之事君也務引其君以當道志於仁而已 孟子曰

今之事君者曰我能爲君辟土地充府庫 戰國ノ士モツハラ國ヲ富メ兵

以テ社ヲモツルノ富國ノ術ヲテラフ者ユク我ヨリ君ノタメニ土地ヲヒラキテ田ヲ闢

水田ヲ多クシテスキナク田ツクリ地カヲツラス 今之所謂良臣古之所謂民

見也 賊トハソコク義ナリ今ノ諸侯ノ良臣トスル処ノ者即カノヨク國ヲトニスモノナリサ

君不鄉道不志於仁而求富之是富桀也 君モトヨリ道ニムカハス仁ニモ

與國トハ味ノ相與スル國ヲ云フノ強兵ノ術ヲテラス者ユク 今之所謂良臣古

之所謂民賊也 民命ヲソコナラ以テ云 君不鄉道不志於仁而求爲

之強戰是輔桀也 輔桀トハソノ暴虐ヲタスクルヲ 由今之道無變

今之俗雖與之天下不能一朝居也 道トハソノ行フ処ヨリ云俗トハ人コレナレ

強ヲ求メ臣コレヲタスクコレ今ノ道ニ今ノ俗ナリ人君コノ道ニヨリレタカヒテコノ俗ヲ変スル

ナクハタトヒコレニ天下ヲアタヘテ王ヲラヒト云凡必ス上下ノラソヒムハフノミテ危乱スミヤカ

ニ至ル一日モソノ位ニ居ルヲアタハットナリ蓋コレ慎子ヲ戒ルニヨリテキハメ云フナルニ○按

スルニ天下ヲタモツハ富強ノ至極ナリサレコレヲ得ル所以ノモノハ道ニシタガヒ仁ヲ施スニア

二五

二五

二五

二五

二五

二五

アリテ富強ヲ求ルバシヤイカ 白圭曰吾欲二十而取一何如白圭名ハ丹周人ナリ凡ソ税ニアラサルナリ

一ヲ取ルハ古今ノ通制ナリ然ルニ白圭孟子ニ謂テ云クワレ二十分ニ一ツトラマク欲スイカアルヘントコレ民ヲアハレ心ヨリ出タルニアラス国用ヲハフキツメテ二十カ一ノ税ヒテ事足ルヤウニセントナリ即コレ商賈ノ貨殖ノ術ヲ 孟子曰子之道路道也路ノ夷狄ノ名ナリコレ北狄ノ法ニ中華ノ道ニアラストソノ義ハ下ニ見エタリ

萬室之家カス一萬軒ナリ孟子ツタトラマフ 曰夫貉五穀不生器不足用也萬室ハ家カス一萬軒ナリ孟子ツタトラマフケテ問フ白圭モ亦ソノ不可ナラ知レリ

惟黍生之地方ハ地氣ヒヤカニ五穀ヲ生セス黍ハハマクニル故ニ 無城郭宮室只コレノミヲ生スコレモト租税ヲ多クトル処ノ者ナレ

宗廟祭祀之禮無諸侯幣帛饗飧饗飧トハ飲食以テ賓客ニラクルノ儀朝ニ幣帛ノ禮ナリ又諸侯ノ朝會聘問モナキ 無百官有司君臣ノ分嚴ナ

故二十取一而足也モテラカナル故ニ百官ノ職有司ノ役モソノ人トシテ俸禄モイラス 故二十取一而足也云ハモト國ノ費用スナキ

今居中國去人倫無君子如之何其可也カニテ足レリワカ貉ノ道ト云ハコレナリト 今居中國去人倫無君子如之何其可也今中國

不可以爲國況無君子乎君臣ノ分限ナク祭祀交際ノ禮儀モナクハコレ人倫ラスツルナリ百官有司ナクハコレ君子ナクメ皆野人ナリカクノ如クナラハイカンカシレ可クランヤ 陶以寡且

貉小貉也堯舜ノ道ハ即ナニラトトル天下古今ノ中制ナリコレヨリ輕クセマク 欲

重之於堯舜之道者大桀小桀也堯舜ノ道ハ即ナニラトトル天下古今ノ中制ナリコレヨリ輕クセマク 欲

夏ノ大桀ニアラス夏ノ大桀ニアラス 白圭曰丹之治水也愈於禹禹ノノカニ諸侯ノ國ニ水

之治水水之道也水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲聲吾子トハ人

今吾子以鄰國爲聲今吾子トハ人 孟子曰子過矣孟子曰子過矣

治 吾子過矣今吾子水流ヲサキテ人ヲサマグル 洪水ノ災ニトナラス利害ヲ

曰君子不亮惡乎執此ノ君子ハ學者ヲ以テ云惡ハ信ナリソノ心道理ヲ信ノ疑ニ惑

孟子曰子過矣今吾子水流ヲサキテ人ヲサマグル 洪水ノ災ニトナラス利害ヲ

曰君子不亮惡乎執此ノ君子ハ學者ヲ以テ云惡ハ信ナリソノ心道理ヲ信ノ疑ニ惑

孟子曰子過矣今吾子水流ヲサキテ人ヲサマグル 洪水ノ災ニトナラス利害ヲ

曰君子不亮惡乎執此ノ君子ハ學者ヲ以テ云惡ハ信ナリソノ心道理ヲ信ノ疑ニ惑

孟子曰子過矣今吾子水流ヲサキテ人ヲサマグル 洪水ノ災ニトナラス利害ヲ

曰君子不亮惡乎執此ノ君子ハ學者ヲ以テ云惡ハ信ナリソノ心道理ヲ信ノ疑ニ惑

孟子曰子過矣今吾子水流ヲサキテ人ヲサマグル 洪水ノ災ニトナラス利害ヲ

曰君子不亮惡乎執此ノ君子ハ學者ヲ以テ云惡ハ信ナリソノ心道理ヲ信ノ疑ニ惑

コカサレズモレ君子トノ亮アラズハ萬事ニナアカ
ラサナルハ然ラハイツクニカ執リタモツアラシヤ
魯欲使樂正子爲政 相トナルヲ云

孟子曰吾聞之喜而不寐 道ノ行ハル
公孫丑曰樂正子強乎曰

否有知慮乎曰否多聞識乎曰否 強ハツル
聞博識ト此ノ三ツクノカニモテハヤスルニ

ノ樂正子ニナコレ短シヨカト丑疑ニ
然則奚爲喜而不寐 ナクハ政ヲスルトモセシカ
ルヘキニテシ樂正子

曰其爲人也好善 樂正子ガ人トナリ善言
好善足乎

曰好善優於天下而況魯國乎 優ナリトハ餘クハ義
ナリ云心ハ善ヲ好メハ天

夫苟好善則四海之內皆將輕千
里而來告之以善 輕シトハタヤスレトナヤニサレ義ヲリコト天下ノ人來リテ善ヲ告

夫苟不好善則人將曰訑訑予既已知之
訑訑トハ欺クヲ云ソレ君子小人互ニ消長ヲ

訑訑之聲音顏色距人於千里之外
訑トハ欺クヲ云ソレ君子小人互ニ消長ヲ

士止於千里之外則讒諂面諛之人至矣
士モ亦善告ル人ヲサス 讒トハ

ツラフチリ面諛モヘツラフナリ 顔ニハツラヒテ心ニハ欺クヲ云ソレ君子小人互ニ消長ヲ

ハ必讒諂面諛ノ惡ヲト 與讒諂面諛之人居國欲治可得乎 政ヲスル者ツ子

古之君子何如則仕 此ノ章蓋レ陳子ソノカニノ仕ヘカキヲイタニテ古ノ君子ハ何

孟子曰所就三所去三 君子ノ君ニ就キテ仕ル処ノ道ニツアリテ

迎之致敬以有禮言將行其言也則就之 招キ迎フルニ恭敬ノ心

禮貌未衰言弗行也則去之 禮貌ハ礼文ナ

其次雖未行其言也迎之致敬以有禮則就

之 品ニカラスコレ云心ハ君子イマタワガ云処ヲ行フベシトハ見エサレ氏恭敬ニノ礼

其下朝不食夕不食

禮貌衰則去之 此ノ去就ハ孔子ノ

際可仕ヘナリ

其下朝不食夕不食

禮貌衰則去之

其下朝不食夕不食

其下朝不食夕不食

其下朝不食夕不食

其下朝不食夕不食

其下朝不食夕不食

飢餓不能出門人臣君志アハスノ退キ困窮ノ糧ツキ朝ニモタニモ食君聞

之曰吾大者不能行其道又不能從其言也使飢餓於我土地

吾恥之又ラレテ諫メタル言モ從フアハス然ルニ今コレヲワカ領地ニ餓死セシムコトワレ

恥ト周之亦可受也免死而已矣君ノ民ニライテ窮スル時ハコレヲスタウノ

此ノ臣モ亦ソノスタヒラウクキナリサレバ飢餓ノ門戸ヲ出ルコトアタハサルニ至ラサハナラ

人仕ノ類ナリ蓋システニ去リタル後ニツノスシイラ受孟子曰舜發於畎畝之

中歴山ニ耕シ三十二ノアケ用ヒラレ五ヘリ傳說擧於版築之間版築トハ版ヲ

膠鬲擧於魚鹽之中膠鬲ハ殷ノ賢人

管夷吾擧於士士トハ刑獄ヲツカサトル官ナリ管仲士官ニシテ

百里奚擧於市百里奚秦ニシテ

故天將降大任於是人也必先苦其心志此ヨリ下ハ上文諸

勞其筋骨筋骨トハ餓其體膚飲食ニウレメテ空之

行拂亂其所爲事ノ行ハル、処ソノ為ニシテ欲スル

所以動心忍性曾益其所不能曾ハ増ト同シ増益ハ三ナラスナリ

人恒過然後能改人トハ中人ヲ以テ云恒ニトハ大様ト云義ナリ蓋シ上智ノ人ハツツカニ

困於心衡於慮而後作此ヨリ下ニ段ハ上一句ノ心ヲ

徵於色發於聲而後喻事ノキサレテラスコトアタハスコト故ニ必其事ア

入則無法家拂士出則無敵國外患者

國恒亡コレ只人ノ上ノミカクノ如クナルニマラス國家ノ事トイハレ亦然ルコトイハリ入ルト出ルハ

孟子曰

國恒亡内外ヲイヘリ法家トハ君ノ法則トスル世臣ノ家ナリ拂士トハ拂ハ弱ト同シタスル

孟子曰

國恒亡内外ヲイヘリ法家トハ君ノ法則トスル世臣ノ家ナリ拂士トハ拂ハ弱ト同シタスル

孟子曰

國恒亡内外ヲイヘリ法家トハ君ノ法則トスル世臣ノ家ナリ拂士トハ拂ハ弱ト同シタスル

孟子曰

ナリ左右ニ輔弼タル賢臣ヲ云敵國ハ敵對ノ國外患ヘカタキ鄰國ニカクシ盜賊要害ニコモレ
ルノルイラ云カヤウノナキ時ハ君カナラズラツレトモルコトヲ知ラスノ大様國ホロクニ至ルナリ
然後知生於憂患而死於安樂也 云ハ上文ヲ以テコレヲミテ然ノ後ニ凡ノ人
ノ生リ全キコト憂患ノ内ヨリ出テ死シテ

ルハ安樂ノ内ヨリハジルコトヲ知ルト蓋シ生死ト云ハ身ノ存亡ヲ云フニニアラス凡ソ事ノ成
就破壊ノルイニナコレナリノ凡ソ人憂患艱難ヲ歴テラヒビダクタケカニラサル者ハソノ心
イニタ平カナラズソノ氣イニダコナラズノ理ヲ察スルコト精密ナラス事ヲ処スルコト多ク粗率ナ
コノ故ニ身ヲカタメ志ヲキタハニク欲スルモノハ必スコノ内ヨリ過キ來ルヘシコレ實ニ天ヨリ久
ヒトリタチテ大事ヲ任セラレシカタメナラハタナリヨリテ志ナキ人ハコノ境界ニラレテ則ヒル
レホルレ志アル人ハコレニテヒテイヨク目ヲサシフリタナリモシテ豪氣ヲ患難ニヒレキタカレ

俗習ニモミロカサレテ後ニ自ツク能ハ 君子ノ人ヲ教化スル道人
ニヨリ時ニシタカヒテ操
サレテ増益スト思ヘルハコトナリ 孟子曰教亦多術矣

予不脣之教誨也者是亦教誨之而已矣 ワレノキハカキ
教ヘカタキ者ニ

予不脣之教誨也者是亦教誨之而已矣 ワレノキハカキ
教ヘカタキ者ニ

予不脣之教誨也者是亦教誨之而已矣 ワレノキハカキ
教ヘカタキ者ニ

予不脣之教誨也者是亦教誨之而已矣 ワレノキハカキ
教ヘカタキ者ニ

予不脣之教誨也者是亦教誨之而已矣 ワレノキハカキ
教ヘカタキ者ニ

予不脣之教誨也者是亦教誨之而已矣 ワレノキハカキ
教ヘカタキ者ニ

予不脣之教誨也者是亦教誨之而已矣 ワレノキハカキ
教ヘカタキ者ニ

盡心章句上

孟子曰盡其心者知其性也 心ハ人身ノ神明ニノ靈靈知覺ナリモロクノ理ヲ
ソチヘテヨロソノ事ニ應ズ性ハ即心ノソチナタル理ナ

知其性則知天矣 天ハ
理ノ

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

存其心養其性所以事天也 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在ヲ放タサル義チ
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソチハサル

○ソレ心ヲ盡シ性ヲ養ヒテ以テ天ヲ知ルハソノ理ヲ知ルナリ心ヲ存シ性ヲ養ヒテ以テ天ニ事ルハソノ行フナリ知行カ子スニサレバ其功ヲ得ガタシ天ヲ知リテ歿壽ヲ以テソノ心ヲ盡ニセサルハ智ノツクセルナリ天ニ事ヘテヨク身ヲ脩メテ以テ死ラニツハ仁ノ至レルナリ智仁カ子キハメサレバソノ徳亦ツイニ成ラヌ

非命也順受其正 此ノ章ハ蓋シ上章ト一時ノ言ナリソノ末ノ段立命ト云 上句云心ハ所謂命ト云者ハタマ心性ノ命ノミアラズ凡ソノ人ノ遇フ外ノ吉凶禍福ノ類モ亦天命ニアラスト云フナレト順受トハウケテサカハスノカレサル義ナリ蓋シ天道至公ノ

私ナキ故ニソノ人ニ命スル外ノハヨキモアレキモ正キニイデズト云フナレコノ故ニ君子冬一味ニ身ヲ脩メテコレヲマチ我ヨリマ子キトルナクニナリノ到來ニ任コレニシタガフ

ヨリテソノ命ヲ受ルノ道正シカラスト云 **是故知命者不立乎巖牆之下** 巖トハクツレカリタルツイチナリ凡アヤウクサカレキ外ノ一端ヲアゲテ例トスコレ上文ヲウケテ云クコノ故ニ命ヲ順受スルノ道ヲ知ルモノハ自ラ危キ場ニツリテ其ワサワイズ

ニ子キ **盡其道而死者正命也** ソノ道ヲ盡ストハ即身ヲ脩ルコトナリ人ヨク身トスルルモコレ **桎梏死者非正命也** 桎ハ足械梏ハ手械ナリモシ罪ヲ犯シトスル

ルト同シクニナミツカラニ子キトル外ナリコレソノ命ヲ受ルノ道正シカラスト云ヨリテ

正命ニアラスト云此ノ二段凶禍ノ命ニツキテ正不正ヲ論ス古福ノ一モ亦非命アリソノ道ヲラスノ得ル外ノ富貴ニ安シ居リ死スヘキ

時ニ苟クモニマカレテ生ヲヌスムノ類コトナリ **孟子曰求則得之舍**

則失之是求有益於得也求在我者也 凡求時ハ必スコレヲ得テ求メザルニハイマダ失ハス只ミツカラ

捨ルニ至リテ後ニコレヲ失フハコレソノ求メノコレヲ得ルタメニ益アルノナリ有益トハ益ニタツト云義ナリ乃コレモト我カ身ニソナハリテアル仁義礼智凡ソノ性分ノアル

外ノ者ヲ求ムガ故ニカクノ如シ蓋シ操存涵養ハコレヲ **求之有道得之有**

命是求無益於得也求在外者也 コレヲ求ルニ道アリテ求ルニ求メカタ

得ラレサルハコレソノ求メノコレヲ得ルタメニ益ナキナリ乃コレ我 **孟子曰萬物皆**

カ身ノ外ニアル富貴利達凡ソノ外物ノ欲ヲ求ルカ故ニカクノ如シ **備於我矣** ソレノ生ニ大極ノ全備ヲウケテソノ性トスル故ニ君臣父子ノ大イナル

ニソナハラスト **反身而誠樂莫大焉** 人モレワカ身ニ反リ求メテソノ備ル外ノ

カ如ク悪ヲ見ルハ惡臭ヲニクムカ如クナル時ハソノ行フ外ニシツトメズ **強恕而行**

ヨクツカラ **求仁莫近焉** 怒トハ人ニミレハル外ヲワカ心ニハカリミテワカ心ノ如ク人ニ推シ及

イニタ誠ナラサルハコレナラ私意ニヘタテラレソノ理イニダ純一ナラズ不仁ナリ人

ヨクツカラ **遠カラスヨリテ仁ヲ求ルコトヨリ近キハナレト云** 誠ト仁トハコレ一理ナリ

ソノ理ノ實ニメ毒ナラザルヨリイハコレヲ誠ト云ソノ理ノ公ニ私ナキヨリイハコレヲ仁ト

云フナレ

三十一

三十一

云コノ故ニ誠ヲ論スルニヨリテ則仁ニ及フ又ワガ心ニ思フ処ヲツカラ人ニ及フヲ仁ト云フ
人ノタメニ思フコトワカタメニスルガ如クナラサルモノワガ心ヲ則テコレヲハカリカヲツケテ人
推シ及ホスハ怒ナリコノ怒ニヨリテコレヲ熟スルトキハ別ニ修為スルコトヲマタ
即チコレ仁ナリコノ故ニ仁ヲ求ルコトメテ怒スルヨリモ近カミチナシ

子曰行之而不著焉ソレ道ハ人ツ子ニ由ル処ニテ日用人倫ノ外ニイデズ然ルニ学
者ソノ事ヲ行ヘ居ナライニタソノ理ノ當然ナル処ニ明ナ

ルコトアリルコトアリ習矣而不察焉習ハテニソノ事ニナルレトイニダソノ理
然所以ノ精キ処ヲ察識セザルモノナリ終身由

之而不知其道者衆也由ルトハ行フト習フトカ子テ云不知トハ不著不察
ヲカ子テ云此ノ段上支ラスヘテ云一生カクノ如クニ

終ルモノ多シトコレ学者深ク道ニ造ルコトヲ求メサルモノヲバイニシメテナリコノ朱子此
章ヲトクニヨリテヲモヘラク今ノ人ハ又カクノ如クナラズイニタカツテ行ヒスズノスナハチ

著ナルコトヲ説カマク欲スイニタカツテ習ヒスズノスナハチ察ナルコトヲ説カマク欲ス
人ハ與ニ同シク学ブヘケレトイニタ與ニ道ニユキカタシトコソハイヘ今ノ人ハイニタカツテ

ヒスノ道ハチ道ニユカンコトヲ求ムト孟子曰人不可以無恥
恥トハ義ノ發
コレ又抑シナクカレル人ナリ

羞チ人ノ思フ悪ム心ナリ人ニナレバ此ノ心アリトイニ私欲ニタテラレテ多クハ緊切ナラ
ズモレバ非ヲ知ル時ニ泚然トシテ飲飽嘔ニ下ルコトアタハズ人ノ惡我ニセムルコト

忌ムコト糞穢ノ身ヲケカシ荆棘ノ衣ニカラントスルカ如クナルハコレワガ羞惡ノ無
良心ナリ人ツ子ニ此ノ心ナクテアルニシキコトナレバコレヲ存メ失ハサレトナリ

恥之恥無恥矣人モレバ羞惡ノ心ナキコトヲ信實ニ恥ル時ハ則チ此ノ機ニ乘
コトナリタチヨク過チアラタメ善ヨニウツルニヨリテツイニ恥辱ノ累ヲ

孟子曰恥之於人大矣恥ハ即羞惡ノ心ニソワガモトヨリアル処ナリ人ツ
子ニ此ノ心ヲ存スル時ハセサル処アル故ニコノヨリ

テ聖賢ニモスムヘレモレトビ此ノ心ヲ失フ時ハセスト云フコトナキ故ニコレヨリタチ禽獸
ニモラチイルナリ然レハ此ノ心ノ存否人ノ身ノ上ニラシテソカシル処甚大ナリ

變之巧者無所用恥焉機トハ事ヲカクク人ヲツク心ノ一ニハタラカヒスソワカ
思フ処ニラトシイルナリ変トハ言ヲサシクニ變化シ

人ヲタワラカレテ惡道ニヒキイルナリカヤウクコトヲ巧ニスル者ハ君子ノ深クハチニクム
処ナルバ彼ハ則チツカラ其計ヲナレ得タリトヨロコビテイヨクコレヲ好ム後ニハ感激ス

ルコトモ生サトラス規戒スルコトモ耳ニイラス矜然トシ禽獸ニチカレ彼モト羞惡ノ心ナキ
ニアラサレモコレヲステク用ル処ナキ故ニホコヒテカクノ如クナリ此ノ外タレモ恥ツヘキ

端好等ノ人ハ不恥不若人何若人有云心ハ人ノ心術人ニレカサルコト品多シトイヘ
ト三尺恥ルコトナキ一事ニテ人ニレカサレ時

ハクノ外ノ事何カ人ニレカサレト事々ニテ人ニレカサレトナリ一説ニ人ニレカサルコトヲ恥スハ何ソ
人ニレカサレトヨムサレモ此ノ説ニヨル時ハ人ニ勝ツコトヲ好ム心ヲ以テ恥ラ知ルトスル誤

ニヨリテ前説ニ從フコトヲ以テ可ナリトス此ノ二段ニ恥ルコトヲ孟子曰古之賢王好善
ナキツクエフアケテソノカレル処ノ大ナル義ヲ示セリ

而忘勢賢王人ノ善ヲヨミニスル故ニワカ尊
大ノ勢ヒラ忘レテコレヲ敬フ古之賢士何獨不然樂其道

而忘人之勢古ハ君王カクノ如クナルノミナラズ士タルモノソノ身イヤレトイヘ何ソ
ソレノ三然ラサラン賢者ハ亦ヨクソノアル処ノ道ヲ樂ンテ人ノ權勢

二屈故王公不致敬盡禮則不得亟見之王公ハ天子諸侯ナリ賢士ソノ
操ヲ守ルコトカクノ如クナル故ニ

二屈故王公不致敬盡禮則不得亟見之王公ハ天子諸侯ナリ賢士ソノ
操ヲ守ルコトカクノ如クナル故ニ

二屈故王公不致敬盡禮則不得亟見之王公ハ天子諸侯ナリ賢士ソノ
操ヲ守ルコトカクノ如クナル故ニ

二屈故王公不致敬盡禮則不得亟見之王公ハ天子諸侯ナリ賢士ソノ
操ヲ守ルコトカクノ如クナル故ニ

二屈故王公不致敬盡禮則不得亟見之王公ハ天子諸侯ナリ賢士ソノ
操ヲ守ルコトカクノ如クナル故ニ

二屈故王公不致敬盡禮則不得亟見之王公ハ天子諸侯ナリ賢士ソノ
操ヲ守ルコトカクノ如クナル故ニ

二屈故王公不致敬盡禮則不得亟見之王公ハ天子諸侯ナリ賢士ソノ
操ヲ守ルコトカクノ如クナル故ニ

王公トイヘ内ソノ恭敬ヲキハメ外ソノ礼節ヲツクサ
サレハコレニシハクアアフヲエズトナリ 見且猶不得亟而況

得而臣之乎 臣之トハ名テ見フノ類ヲサス王公敬礼ヲツクシテアコトスラ且ツク
ソレ君ハ已レヲカメテ以テ賢者ニ下リ士六道ヲ枉テ以テ利祿ヲ求メズノ中相ソ

ムクニ似テ實ハ則チカクノ如クニ後ニ君臣ノ道相成ス蓋シ亦各ソノ道ヲツクスノ三
ナルガ故ナリ然レ此章ノ主意ハ古ノ賢士ヲ

ヒキテ今ノ士ノ然ラサルヲ歎キタル詞ナル歟 孟子謂宋句踐曰 宋ハ性句踐ハ
ノ歴メク 子好遊乎吾語子遊 遊ハ遊説ナリ遊説ヲコノバワレ 人知之

亦置器人不知亦置器 器人知之不知トハソノ説ノ行ハト行ハレサルヲ以テ云フ
ソノカニ遊説ノ士ノ説行ハル、時ハ意氣揚々トソゴリ行ハレサル時ハ

欲然トシテシホレヒシクルニヨリテ孟子コレニツケルカクノゴトシ 曰何如
斯可以置器矣 何事ヲカ修メ置メ 曰尊德樂義則可以置器矣 徳

已ニ得ル処ノ善ヲ云コレヲ尊フ時ハ自重ニスル処アリテ爵祿ノ榮ヲ慕ハズ義
ソノ守ル処ノ正キヲ云コレヲ樂ム時ハ自安ニスル処アリテ外物ノヒクニ拘ハズ蓋シ自

重シ自安ニスルハ即自得ナリ慕ハズ狗ハサルハ 故士窮不失義達不離道
即チ無欲ナリ自得自得ハコレ置メナリ 六遊説士ヲウケトクトイヘ厄迄ク云詞ナリ窮ハ困窮達ハ利達ナリ人知シテ貧

賤トイヘコレニ移サレズメ守ル処ノ義ヲ失ハズ知ラレテ富貴ナレトコレニ拘ハズソノ
行フヘキ道ヲ離レズコレ徳ヲ尊ビ義ヲ 窮不失義故士得已焉 得トハ已ヲ

樂ム者ノ行迹ニシテスル事實ナリ 窮不失義故士得已焉 失ハザルヲ云
始終ワカ身ヲ全 達不離道故民不失望焉 民不失望トハ人民アラカシメ此

ウノキスツケナリ 古之人得志澤加於民不得志脩身見於世
一ヲ望ミケルニ今ノ果ノ 古之人得志澤加於民不得志脩身見於世
ソノ望メル如クナルト云

此レ又古人ヲ引テヨク已レヲ得民ノ望ミヲ失ハサル事實ヲホク古人志ヲ得テ道行
ハルニ時ハ必恩澤民ニカウフヲシムルヲアリ志ヲ得スノ大クレ処ル時モヨクソノ身ヲ脩

ムルニヨリテ名實世ニテ 窮則獨善其身達則兼善天下 窮スル時ニ必獨
ラレテカクレナキナリ 窮則獨善其身達則兼善天下 窮スル時ニ必獨

ユレヲヨクス達スルトキハ只フカ身ノミナラズ天下ノ人ヲモ兼テニテ治メ教ヘテコレヲヨ
クナルナリ此タゞ上段ノトヲホメナゲク詞ニテ別ノ義ナシ○此ノ章云心ハ士タル者

内ニ得ル処アリテ重ケレバ外ノ得失輕ク我コレト相 孟子曰待文王而後
ツカラスコノユヘニユクトメ善カラスト云フコトナリ 孟子曰待文王而後

興者凡民也 興トハ志氣感動シフルコトナリ 孟子曰待文王而後
メニツコレヲイヘリ蓋シ古ノ聖王ニナヨク人心ヲ興起ス中ニモ文王ハイノチナカリシ故

二人ヲ興セルト最モ盛盛ニ戰國ノ時ニテモ餘澤ナラ存スルニヨリテトリワキコレ
ヲヒ 若夫豪傑之士雖無文王猶興 豪傑トハ才智人ニコヘタル者ヲ云

ナリトイヘ凡凡人ハ必ス上ノ風教ヲミチ得テ後ニラコル上智ノ人ハコレヲミタズノ自
ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

孟子曰附之以韓魏之家如其自視欲然則過人遠矣韓氏魏氏

ノソノ家最モ富貴ナリ欲然トハ自滿ナル心ナリ人ノ身ノ上ニ忽然トノ韓魏ノ家ノ富貴ヲ以テミ加ルトイヘ自コレヲミルテ欲然トノソノ意氣ニチアガル処ナク只平常ノ如クナル者ハコレソノ愚識人ニコレタルハルカニトラシト云

孟子曰以佚道使民雖勞不怨佚ハヤスキ義ナリ人君ノ民ニラケルソノ本意民ヲ安佚ナラシムル道ヲ以テコレヲ使ハ民ソノ役ニ苦勞ストイヘ自怨ムル心ナレバ農耕ヲアラカ

シメヨリ催促シ又堀ヲホリ城ヲ以テ生道殺民雖死不怨殺者人民ヲヒトシクキツカシムルノ類ニナコレナリ

然ラサル時ハコレニ反ソ然ラサル時ハコレニ反ソ孟子曰霸者之民驩虞如也此ノ章王者ノ民ノ氣象ヲ稱美セントメツ覇者

ノ民ヲ以テクニラセヨセリ驩虞ハ歡娛ト同シヨロコビタクシム義ナリ如ノ字ハ上ノ字ニツテテ物ヲカタトル詞ナリ王者ノ政ニ民ヲ歡娛セシムルタメニ作為スル処アリテカクノ

如シ然レ作爲ノ效如シ然レ作爲ノ效王者之民皞皞如也皞々トハ廣ク大イニ各ヲノツカラ得ハ久レキニタヘカタシ

化ノ如ク民ヲ君コバシムルワサモナク亦イカラシム君モ民ヲ君コバシムルワサモナク亦イカラシム殺之而不怨利之而不庸殺之而不怨利之而不庸

何ノ怨ムコトアラン民ノ利トスル処ノクアバコレニヨリテ利ヲオコスコレヲ利スルニ心ナレ何ノ功アリトスルコトアラン民ノ性ノ自然ノマニ教ヘテラツカラコレヲ得セシムコト故ニ日々

ニ善コトウツレ圧コレ誰カスル処ナルコトヲ知ラス帝堯ノ時老人嚳ウチヲ遊フモノ歌ニ吾日出テ作キ日入りテ息フ井ヲホリテ飲ニ田ヲ耕ニテ食ク帝ノ力我ニライテ何

カ有ルマトウタヒケルコトヲ以テ思ヒシルヘシ又或人ノ云ク王者ノ民ハ雨露ノ草木ナリ王者ノ民ハ雨露ノ草木ナリ覇者ノ民ハ桔槔ノ夏畦ナリト日ニヤケタルハタケニ子ニルニテ水カタル

コトヲ夫君子所過者化所存者神此ノ君子ハ聖人ヲ以テ云過ルハ歴ラタル義ナリ聖人ノ身ノ歴ル処人ソノ

徳化セスト云コトナクソノ心ニ存主ノ化ヲナス処ノモノ神妙ニ測リカタキコトハ君子ヨリ云化ハ人ヨリ云ニツノ者前後チレ舜ノ歴山ニ耕シ玉ヲ時ニ田ツルモノ

相エツリテサヒエラフコトハス河實ニ隣モノツクリシ玉ヲ時ニ入ノ器ツクルコトカケユガニナルノ過ル処ノ者化スルコト而シテ存スル処ノ神モ亦シラレタリ孔子ノ立ツル時ハスナハ

チ立チ道ヲ時ハスナハタカヒ緩スル時ハスナハチ來リ動ス時ハスナハチ和クハソク化ノスミヤカナルヲ以テラノ存ノ神ナラシラ見ルコレ聖人ノ神化ヲ以テ王道ヲ

論ス上下與天地同流王道ノ徳業サカナルト上天ニアヒ下地豈曰小補之哉王道ハ一世ヲアゲテ新ニ変化ス霸術ノ小々ノスキヲ補ヒフサカ分知シト

キニライカケメフサクガ如シ王化ハコレヲ新シク王化ハコレヲ新シク孟子曰仁言不如仁聲之

イナラヌカガ如シト朱説ニモコレノ意アリ孟子曰仁言不如仁聲之

孟子曰仁言不如仁聲之孟子曰仁言不如仁聲之

孟子曰仁言不如仁聲之孟子曰仁言不如仁聲之

孟子曰仁言不如仁聲之孟子曰仁言不如仁聲之

孟子曰仁言不如仁聲之孟子曰仁言不如仁聲之

孟子曰仁言不如仁聲之孟子曰仁言不如仁聲之

孟子曰仁言不如仁聲之孟子曰仁言不如仁聲之

入人深也

仁言トハ人君仁厚ノ詞ヲ以テ民ニイヒキカスルヲ云仁聲トハ聲ハ名ナリ君仁徳ノ實アリテ民コレヲ稱美スルヲ云仁言モ民ヲ感スル処アリトイ仁聲ノ民ノ心ニ感シ入ル

善政不如善教之得民也

禁令ヲ云教トハ道ヒクニ徳ヲ以テメコレヲトシフルニ礼ヲ以テスルナリ云心ハ政ノ善キニ得ル処ノ功ハ教ノ善キガ民ヲ得ルコトアルニカストメクノ義ハ下ニ見エタリ

蓋シ政ノヨクメ教ノイニダヨカラサルコトナリ

善政民畏之善教民愛之

ハ善政ノ善教ニカサル義ヲ詳ニトク民畏之トハ法度立チテ民コレヲカロシメアケトラサルコト云民受之トハ教化行ヒテ民コレヲヨロコビシタラフコトアル云是ニテ君ニ善アルハ民コレニ應スルノ效

善教ハ民ノ忠孝ノ心ヲ得テクノ親ラステスツノ君ヲ後ニセヌコレスナク善政善教ノ得ル処アル功ニシテクノ功ノ浅深モ亦以テ見シ此ノ章合セテ云時ハ仁言ハ政教

中ニ在テ行ハル仁声ノ實

孟子曰人之所不學而能者其良能也所不慮而知者其良知也

良トハ本來自然ニヨキ義ナリ人ノ學習ヲ歴ヌク能者ハ良知ナリ程子ヲモヘラク良知良能孩提之童無不知愛其親也及

其長也無不知敬其兄也

コレ良知良能ノ事實ヲトク孩トハ小兒ノ笑ハ天ノ自然ニイテ人ノレガニカラズ

間猶幾スルヲ知リテ手ヲヒキイダクギホドナルヲ孩提ノ童ト云ク親ヲ愛スルハ父母ヲ慕イテモツレヨルヲ云又ツノ稍長スルニ及ニハツノ兄長ヲウヤヒテ物コトニ

敢テ先タヌコヲ知ル此ノニツノ知ルト云ハ

親親仁也敬長義也

親々ハ即親ヲノスヘテ知ル義ニテ上文ノ知能ヲカキタリ

無他達之天下也

云心ハ親ヲ親ニ長ヲ敬スルノ義ヲレ此ノ心天下ニ通達ノ同レコナルヲ以テトト蓋シ上文ニツノ無不知ト云詞ニ

ツキテツノ親々敬長ノ心ニ本然ノ良知良能人々固ヨリ有ル処ニテ天下同ク然ル

心ノ見ユルニヨリテコレニ道ニコレヲ指シテ仁義トスルナリ此ノ章ノ蓋シ世ノ人仁義ノ徳ヲ外ニ求メ私智ヲ以テコレヲ鑿シ孟子ヨリ論ヲ發スルコトハ已ニ反リ求メテ

ソノ良知良能アルコトヲサトリコレヲ推

孟子曰舜之居深山之中與木石居與鹿豕遊其所以異於深山之野人者幾希

舜深山ノ中ニ居玉ヲ時ノナリノ時ハ只一農夫ナルニヨリテ木石ノ間ニス三鹿豕ト相ナレテ深山ノ野人ト大ニ異ナルヲナキマウニ見ユルナリ

及其聞一善言見一善行若決江河沛然莫之能禦也

江河ハ三十大川ナリ沛然ハ水ト決リナカレテ沛然トシテモルコト能ハルカ如シ孔子耳順ノ時声入テ心通スト同レコレ又舜ノ大ニ人ニ異ナル処ナリ江河ヲ決ルノタトヘ孟子道ニ造レテ深キヲ

至ルハ形容コニ孟子曰無為其所不為無欲其所不欲如此而已

矣為ルトハ身ニテノ事ヲ行フナリ欲フトハ心ニテノ事ヲ求メ望ムナリ非義ナリ

礼義ヲ以テコレヲ制セサル時ハ為レシキ処ヲ欲クシキ処ヲ欲フコト多シ人ヨクソノ

私意尅ルハ本然ノ心ニ反ル時ハ則テ差惡ノ心ヲ操シテ義ヲ失フコト云フナリ事

者恒存乎疾疾テ徳ニハ慧徳ナリ慧クテ昏カク又徳ヲ云術智ハ智術ナリ智ナリ

徳智術アリテツ子ニテノ災患ニテイタル内ニ煉磨ノコトヲ得ルナリコレ獨孤臣孽子

其操心也危其慮患也深故達ナクヒトリ身ナル臣ヲ云孽子トハ孽子トハ木ノ目

ノ旁ニ出タルヲ云コレ庶子ノ事ナリ諸人ノ中ニ多ク此ノ兩様ノ人ハ君ト親トテ志ヲ得ス

ノ疎ニシテハ故ニ思ハサル災難ニアラシク憂ヘテツ子ニ操リタモツコト危ク患ヲ思ヒハカル

一深シ守リ危キ故ニ專ニシテモホシイマナラズ慮リ深キ故ニ精ク審ク少モアテト

ラスコレニヨリテヨノ事理ニ通達スルヲ得ルナリ達ハ即徳慧術有ナリ蓋シ人ノ疾疾

ニテクフ端ニアラス中ニモ孤臣孽子ノ身ノ孟子曰有事君人者事是君則

為不悅者也此ノ章人臣ノ品ヲ論スコトハ一ツツノ下品ナル者ヲアケテ下ノ三大

事ヲ以テ只コレヲ君ニ有安社稷臣者以安社稷為悅者也社稷ハ國家ヲ

安ニスルコトニヨリテコレヲ君ニ事スル忠トシテ念々忘レサルコト也

天下而後行之者也天民トハ民ハ位ナキモノ、通称ナリ此ノ人天理ヲツクシ

テナリソノ志ヲカイダク処ノ道必天下ニ行ハルヘキヲ見テ而テ後ニ出テコレヲ行フ然

ラサレバ世ヲ没ルニテ知ラサレカクテコレヲ悔ヒズ肯テソノ道ヲ小キニ用ヒテ

人ニ悔ハサルモノナリ伊有大人者正己而物正者也大人ハ即聖人ナリ物ト

シレ大人ハソノ徳キハメテ盛ナレ故ニモニタヒ世ニ出テ已ラフ正フ位ニラハ上下ヲツ

カフコトニ化メテ正シクナル者ナリ君臣民ステニ正キ時ハ國家安カラスト云フナク政

教行ハレスト云フナレ此ノ章人臣ノ品同シカラサル一略コト四等ナルヲ云合禮ノ

倂臣ハ云フニタラス社稷ヲ安ニスルハ忠ナリ然レヒナラ一國ノ主ナリ天民ハ則コレ天下ノ

子有三樂而王天下不與存焉三樂ノ條目下ニ見ヘタリ不與存トハ此ノ

蓋シ君子ハ富貴ノ奉養ヲ以テ樂ニトセサル故父母俱存兄弟無故一樂也存

二天下ニ王タルトモ反テ樂ニトセサルナリ

父母俱存兄弟無故一樂也存

蓋シ君子ハ富貴ノ奉養ヲ以テ樂ニトセサル故

イキテ在ルナリ無故ハ或ハ病死災難或遠クヘタリ或ハ中睦シカラズヤウノ
ナキヲ云ナリ此ノニツハ人々深ク願フ処ナシト必シモ得ヘガラス今クステニコレヲ得
ル時ハノ樂ト仰キテ天俯不作於人ニ樂也人ヨク私欲ヲ克チテノ
キテ天理ニ反ルコトアレハ

自内ニ省ミテ仰キテモ天ニ愧ル処ナク俯シテモ人ニ作ル
処ナク心廣ク体胖ナリ豈深ク樂ムヘカラザランヤ 得天下英才而教

育之三樂也 育ヒタル時ハ道ヲ傳ルモ多ク後世ニテモ
ト云フナレ君子ノ願望コトヨリ大イナルハナシ 君子有三樂而王天下不與

存焉 樂第一天ニカリ第三八人ニカルノカラ以テ致スヘキ者ハ只第二ノ愧ス作ル
ルハカリナリ學者 孟子曰廣土衆民君子欲之所樂不存焉廣ク土地
ヒラケ衆ク

民ノソニル時ハ因心遠ク施スニ此趣ハ君子ノ子カフ
中天下而立定四海之

民君子樂之所性不存焉 中天下而立定四海之
民ヲフミ子ク安定ニスル時ハソノ道天下ニ行ハレテ一夫モノノ沢ラカウラステ云フナレ此レハ

則君子ノ衆ム処ナリ然レ凡ソ天ト人トニカリタルハナラ外ニ待ツコトアリ尺ワカ天ニ
得テ德性トナル処ノ者ハ至リテ重ク 君子所性雖大行不加焉雖窮居

不損焉分定故也 君子ノ性トナル処ハ天トニモトツノ道大イニ行ハルトイヘ凡一分ノ
加ハル処ナク困窮ノヒトリ居ルトイヘ凡一分ノ損スル処ナシコレソノ

義禮智根於心 此ヨリ下ノ君子ノ性タル処ノ内ニツタル蘊蓄ヲサレ出シテソノ尤モ
重貴ナルコトトク仁義礼智ノ四徳ハ即此ノ性ノ内蘊ノリ心ニナカスト

其生色也惝然見於面盎於背施於四體四體不言而喻 生色ト
威儀ノ間ニハハルコトヲ云四徳心ニ根サレセルニヨリテ精神カタチニ發生スルコトト云凡
如クナリ惝然トハ清々和キテウルホル色ナリ面前ニアラハルコトカク如ク盎ルトハ豊ニ厚ク

儀ノ間ニラハルコトヲ云四体ワカ言コトヲ待タスノワカサドリノサレヒキチナルヒヲソ
カラ礼節ニカフソコト君子氣質清明 物欲ノ累ナキ故ニ四徳心ニ

子サレ内ニ積ム盛ニ至リテ外ニ發見スルコトカク如クナリ 孟子曰伯夷

辟紂居北海之濱聞文王作興曰盍歸乎來吾聞西伯善養老

者太公辟紂居東海之濱聞文王作興曰盍歸乎來吾聞西伯

善養老者 說前篇三見ヘタリ此ノ章ハ伯夷大公ノ西伯善ク老ヲ養フト云語アルニ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

ヨリテソノ養老ノ政ノヨキヲ詳ニノミソノカミ文王ノ政ヲ行ハスメ

民多ク飢寒ニ及テ 天下有善養老則仁人以為己歸矣 ルノ天下ニ文王
ノ如クヨク老ク

ルヲ養フ人アルハ二老ノ如ク仁人ニテ テ 五畝之宅樹牆下以桑匹婦蠶之 ルヲ身ノヨリトコロトコロニ來歸スルナリ

則老者足以衣帛矣 此ヨリ以下ハ文五養老ノ政
ヲトク義前篇ニ見エタリ 五母雞 母雞ハ二ハトリノ雌ヲ云母雞ハ家ノ牝ヲ云二家コトニ母
雞五ツ母雞ニツラ養ヒテ子ウミヤシナフ時ヲ失ハサレハ

其時老者足以無失肉矣 若者肉ヲ食フニ足レリ
失肉ト肉ヲ得サルヲ 百畝之田匹夫耕之八口之家可以無飢矣 百畝

八二家ノ受ル処ナリソノ入ル処八人ノロラヤレチフ 所謂西伯善養老者制其田
ハレハ八口ハ父母ヲ主トシ妻子女子モソノ中ニアリ

里教之樹畜導其妻子使養其老 コレ上ニ文ヲウケテ前二段ノ義ヲ叙メ制
ツクル義ナリ田一ハ百畝ノ田ヲサシ甲上トハ

五畝ノ宅ヲサシ樹ハタルナリ農穀ヲ以テ云畜ハヤレチナリ 雞屍ヲ以テ云云心ハ西
伯ヨク老ク養フトハ只カクノ如クソノ田宅ヲサシケケクノ妻子ヲ教導シテ老ク養

ハレムルノミナリ家ニタマモノヲ 五十非帛不煖七十非肉不飽不煖不飽
人々ニコレヲ加ルニアラスト

謂之凍餒文王之民無凍餒之老者此之謂也 凍ハコニニ九ナリ餒ハウ
ノ老ナレト云古語アルヨリテ上ニ文ヲウケテコレヲ叙レソノヨク養フ

薄其稅歛民可使富也 此ノ章政ヲスルニハ民ヲ富メシムルヲ以テ先トスルヲ云田
疇ノ二字トリクキテ云時ハ疇ハヨキタナリ熟田ヲ云コレヲ

易ムトハツクルコナリコレ農ノ時ヲサマタケズン民ヲ思フマニ耕作セシムルヲ云稅歛六年 貢ナリコレヲ薄クストハツノカミノ厚キニ對シテ云只コレ作一ノ制ヨリマシテトラザルナリカク
ノ如クニスル時ハ民ヲ
メトミシメフルナリ

食之以時用之以禮財不可勝用也 食之以時トハ
凡ソ穀穀魚肉

類必ストルキ時節ヲミチテ後ニトリ食フヲ云用之以禮トハスヘテ厚生ニ用ル処ノ 物ヲハ法度ニユルサレタルコトニ用ヒテミタリニ用ヒサルコトヲ云カタノ如クニ民ニ節儉ノ
道ヲ教ルトキハ財
用多クノ常事ナク

民非水火不生活昏暮叩人之門戶求水火無弗與 此ヨリ下ハ民ノ財用ヲ富足セシムルコト仁化ノ本タルコトヲ論ス生活トハイキ
テ居ルコトナリ昏暮ハ日クレナリソレ水火ノ二ツハ民生日用ノ急ナル処ノモノ

者至足矣 此ヨリ下ハ民ノ財用ヲ富足セシムルコト仁化ノ本タルコトヲ論ス生活トハイキ
テ居ルコトナリ昏暮ハ日クレナリソレ水火ノ二ツハ民生日用ノ急ナル処ノモノ

聖人治天下 ナレハ尤モヲシムヘキコナレ臣タトヒ日クレテ後二人ノ門戸多キテ水火
ヲ求ルニモアタヘズト云モノナレコレヲ至リテ多ク足ラテナリ

使有菽粟如水火 菽ハ豆粟ハ米ナリコレヲ多キコト水火ノ如クナラシムル
コレヲ多クスル術モ亦他ナレ首二段ニ云処ニスキナ

水火而民焉有不仁者乎 仁ハコレ人ノ本心ナリトイハレ生養タラザレ時ハコレヲ
失フ者多シコノ故ニ民ヲ富メシムルノ效ハラシムカラ

皆仁愛ノ道ヲ知ルナリ尹氏ノ云ク礼義ハ富足ニ生ル 民常ノ産ナキ時ハ常ノ心ナレト礼義常心ハ即コレナリ

孟子曰孔子登東山而 小魯登大山而小天下 ラコレ聖人ノ道大イナルコトヲ云愚按スルニ此ノ段ニツノ
登ノ字ヲ説ク者多ク孔子ノ登ルトナレテ云恐ク然

小魯登大山而小天下 ラコレ聖人ノ道大イナルコトヲ云愚按スルニ此ノ段ニツノ
登ノ字ヲ説ク者多ク孔子ノ登ルトナレテ云恐ク然

ラレコレ聖道ヲ學ブモノヨリ云ナルハ此ノ二句詩ノ興ノ如シ東山トハ魚目ノ城東ノ高山ナリ大山ハ即泰山東山ヨリモ又高シ蓋シ聖人ノ道高大キハミナリナキ故ニコレヲ學フ者ノノス、ミノホリテ居ル處ノ地位マズク高キ故觀於海者難爲水遊於聖時ハソノ下ヲミルコトマズク小シキナルコトイヘリ

人之門者難爲言 上人ハ亦興ナリ下ノ句ハ上ヲウケテツク實ヲ云海ハ大水ノ至極ナル故ニ海ヲ見タル者ニ對シテ別ニ水ノ大イナル説ヲナシカ

カタクソコレナラ仁ニハ衆ヲナスヘカラスト云意ノ如シ **觀水有術必觀其**

瀾日月有明容光必照焉 コレ道ノ本アルコトヲ云詩ノ比ノ如シ瀾ハ水流ノ急ナ

容光トハ光ヲ容ルルスキマナリ云心ハ水ヲミルニハソノテダテアリ必スソノ瀾ニライテコレヲ見ル時ハソノ源アリテコレカ本タル故ニソノ流レカクノ如クニキハマリナシト云フコトヲ知ル日月ヲ

見ルニモスコシキ容光ノスキマアレバ必ス光リサシテソノ内ヲ照スヲ見テ則 **流水之**

其ノ明アリテコレカ本タル故ニソノ光リカクノ如クニキハマリナシト云フコトヲ知ルト **爲物也不盈科不行** 此ヨリ下ハ學ヲスルノ道必漸クニ進シテ乃チ至ルヘキコトヲ云

チテ後ニソノ下ニ流レイニ **君子之志於道也不成章不達** 成章トハ内ニ

ミタサル時ハ流レユカサルナリ **孟子曰雞鳴而起孳孳爲善者舜之徒**

アリクニ後ニ威儀文章外ニアラハルコトヲ云達ストハコトニ充足ノカレコトニ通達スル義ナリ君子ノ道ニ志シテ學ブモノモ必ス章ヲナシテ後ニ達スルコトヲ水ノ必スアナニチテ後ニ

流ルカ如シ○此ノ章云心ハ聖人ノ道大イニ本アリコレヲ學フ者必スソノ漸ヲ以テ乃チ至ルヘキコトヲ蓋シ學ブモノノ功必漸ク以テ進ム時ハ深ク造リテ後ニコレヲソノ左ニ

トリテ三ノ源ニアニツイニ **孟子曰雞鳴而起孳孳爲善者舜之徒**

也 終ニトハツトメツトム心ナリトナク時ニラキイテコトヲ孳孳トシテ善ヲツト

起孳孳爲利者瞽之徒也 利ハ利欲ナリ瞽ハ盲也 欲知舜與瞽之

分無他利與善之間也 善ハ公利ハ私利トハ相去ルコト遠カラサルコトヲ云舜ト

ハ他ノ事ナシ利ト善トハ間無クシテ善末ニアルノミナリツカニ善ヲ出シ即利ニ入ルコト

善ナラス利ナラザル間地アルナレトコトナシ居ルハ君子高明正大ノ徒カナタニ居ル小人

卑汚穢僻ノ流人スヘカタク自敬言者ソノ幾ヲ察スルコトニ君子ノ越ラハナレズノハラク

モ小人ノ域ニ甘ニスヘカラスノ揚氏ノ云ク舜瞽ノ相去ルコト遠シ而ソノ分ハ利ト善ト

間ニアルノミコレ出ツツニサレヘケンヤ然レテコレヲ講スルコト熟セスコレヲ見ルコト明カナラスハ

イニカ利ヲ以テ義トセサルモノアラレ又學者ニサニ深ク察スヘキ處ナリ或人トシテ難ナ

キニ起キモレイニダ物ニ接ラズハイカンメカ善ヲセシ程子ノ云ク只敬ヲ主トス禮ヲ善

ラスルナリ陳氏ノ云クイニダ物ニ接ラサル時敬以テ内ヲ直クメ以テソノ本ヲ立テ物

ニ接ル時ニ及レテ義以テ外ヲ放シメ以テソノ用ヲ達ス **孟子曰揚子取爲我**

拔一毛而利天下不爲也 揚子ハ揚朱ナリソノ道ソツカニ我カ爲ニスルハカ

云名目揚子自コレヲ立ルニアラズ只コレ孟子揚子ガ心ヲ立ル處ヲ以テコレニ名ツクナリ

ワカ身一モヲヌクハ甚ク輕キナリ然ルニコレヲオク墨子兼愛摩頂放踵利天

以下天下ノ人ノ為ニ利アルモ亦コレヲセサルナリトナ下爲之トナ頂放踵トハ頂ヨリ踵ニテ一物ニテアリテツキスラハソカクノ如クニ執勞シテ

天下ヲ利スルコトヲモイトフコトヲテコレラスルナリトナ子莫執中執中爲近之執中

コレソノ人ニツイテ愛セスト云フナキノ道ナリトナ無權猶執一也トナ子莫魯ノ賢人ナリ揚子カ爲我墨子カ兼愛ニテカメヲチニ並ヒ

スレバ道ニ近シトスヘシ然レモ中ヲ執テ權ナケハ亦ナラ揚墨カ一偏ヲ執着スルカ知キヲ

權ハモト秤ノラモリノ名物ノ輕重ヲハカリテソノ當ル處ヲ知ル者ナリカクノ如クニ理ノ當

不ロハハカリテツノ至當ノ處ヲ用ルハ時中ナリ只彼此ノ中分ラトリテ理ヲハカルコトナキハ

コレ一趨ノ中ナリ蓋シ子莫中ノ名ヲ慕ヒテトリアヤマルハ當時揚墨カ道ヨリニカレリ

トコノ故ニ孟子權ノ字ヲ以テコレヲ破リトナ所惡執一者爲其賊道也舉一

而廢百也トナ云心ハワツソノ一ヲ執ルコトヲ惡シテコレヲ辨スルコトソレニテ中正ノ道ヲソコナ

似テ義ヲ害ス子莫カ權ナキノ中ハ中ニ似テ時中ヲ害スコレニテ平カニ道理ヲハカラス

ノ只各々ノ見ル處ノ一道ヲ是ト認テコレヲ行フヨリテソノ一道モ亦是ニアラスコノ故ニ又

云クコレニツラアゲ用ヒントノ百ガ百ナガララ皆スルナリト此即ソノ道ヲソコナフ所以

一説ニ此ノ段ノ執一ト云モ直ニ上文ノ執一ヲウケテ只揚墨ヲサスコレ孟子揚墨ヲヒ

主意ニ孟子莫ヲヒラク心モ亦ソノ中ニアリト○此ノ章道ノ貴キ處ノ者ハ中ニテ中ノ貴キ

處ノ者ハ權ナルコトヲ云ナリ楊氏ノ云ク禹稷三タヒソノ門ヲ過レモハラスモレソノ可ク

サル時ハ則墨子ト異ナルナレ顔子陋巷ニテソノ樂ヲ改メスモレソノ可ニ當ラ

サル時ハ則揚子ト異ナルコトナレ子莫爲我兼愛ノ中ヲ執テ權ナレ郷鄰ニタカフコトアレ

レ而モ戸ヲ閉ルコトヲ知ラス同室ニタカフコトアレレ而モコレヲ救フコトヲ知ラズ是モ亦ナ

ラ一ヲ執ルガ如クナルニミコノ故ニ孟子子莫モレラク道ヲ賊フト禹稷顔回地ヲ易ル時ハ

則ニ然ルコトヲ權アルヲ以テナリ然ラサル時ハ則コレモ亦揚墨ナラクノミ孟子

云クモレシ學イマタ至ラス理イマタ明ナラスメ徒ニカノ處謂中ト云モノヲ求メテコレヲ執ラマ

ク欲セバ則所謂中ト云者何ノ形狀アリテ執ルベケン殆トイヨク失フコトヲ見シ子莫コレ

ナリ既ニ中ヲレラスメ及カノ時中ト云者ヲ慕ヒテ時ニ隨テ以テ中トセシク欲セハ吾恐

ラクハソノコレヲ失スルコトイヨク遠クシマタ必シモトナ孟子曰飢者甘食渴者甘飲

墨子兼愛摩頂放踵利天

子莫執中執中爲近之執中

無權猶執一也

所惡執一者爲其賊道也舉一

而廢百也

孟子曰飢者甘食渴者甘飲

是未得飲食之正也飢渴害之也

腹有飢渴之害人心亦皆有害

無以飢渴之害爲心害則不及人不爲憂矣

孟子曰

孟子曰

孟子曰

柳下惠不以三公易其介

云柳下惠和ヲ以テ称セラルトイヘテノノ聖ノ和ナルヲ以テ和ノ内ニ介アリ三公ノ榮耀

ヲ得ルトイヘテ亦モ失フトイヘテノノ守ルル介ヲウツシカハ前篇ニ所謂柳下惠進

ニ賢ヲカクサス必ク道ヲ以テス遺佚スレバ怨ニス厄窮ミレバ憫テ道ヲ直クシ人ニ

事ヘテ三々ニ黜テラニ至ルコレソノ介アル然レバコニコレ孟子下惠ノ人トナリテ形

容ソシカイヘリ實ニ此ノ介アリトスルニアラス○此ノ章柳下惠和ノ流レサルヲ云孔子夷齊

論ノ舊惡ヲ念ハストノ至ルニ相類スニテ聖賢幽レタルヲ聞クノ心ナリ蓋シ夷齊ノ清ヲ

知リテスノ量アルヲ知ラス下惠ノ和ヲ知リテソノ介アルヲ知ラサレハナリ

孟子曰有爲者辟若掘井

自アリ多クテカヲ用ルニイサム者ヲ云隣ハハ掘井九軻而不及泉猶爲棄井

也 軻ハ何ト同シハ尺ヲ何ト云泉ハ水ノワキ出ルル所ナリ爲ルル者ハハスハノカイヤム

故ニスミテ速ケレバモレイマ成ルニ至ラズマム時ハコレ自ソノ前カラスツルナリタト

ハ井ヲホルモノ深キト九軻ニ至ルトイヘバイマダ泉ニ及ハズマムガ如シコレナラ其井ヲ成

サズメ自コレラスツル者 論語ニ子曰クタトハ山ツクルガ如シイマダ一簣ヲ成サズメ止ハ吾カ

止ムナリト云心ト同シ一説ニスルコトアル者ノ志井ヲホルコトステニ深ケレバイマダ泉ニ及バ

ズマムコトヲ自ソノ井ヲスツルガ如ク思ヒテソノ成ルニ至ルコトステニ深ケレバイマダ泉ニ及バ

○呂侍講ノ云ク仁堯ニシカズ孝舜ニシカズ孔子ニシカサハ終ニイマダ聖人ノ域ニ

入ラス終ニイマダ天道ニ至ラズイマダ半途ニテ自前功ヲ棄ルコトヲ免レズト

孟子曰堯舜性之也

之ノ字ハ道ヲサスノ實ハ仁義ノ外ナレトモ亦同シ性之

トハ堯舜ノ徳ハ天性輝テカニ全ク修為習練ヲカラス

自然ノ五霸假之也

五霸ハ一時ニ功アリトイヘテソノ術ハ仁義ノ名ヲ假借シ以テ久

假而不歸惡知其非有也

身ヲ終ルニテ名ヲカリナカラ得タリカシコレトモコ

レニ居テ疑ハス然ル時ハ何メ自ソノ實ニワカ有ル

処ノ者ニアラサルコトヲ知ラシ一説ニ云心ハコレソノ久ク假テカハサルモノナリ世ノ人何ノ其

ノ有ニアラスノ偽ナルヲ覺ラシト○尹氏ヲモラク性之ニスルハ道トナリ身之スルハ道ヲ

子之不耕而食何也 君子自耕之食ハ素餐スルコトアル何ソト其ノ下心ハ孟子時ニ功ナクノ諸侯ニヤシナルコトヲ疑ヒテトヘルナリ

孟子曰君子居是國也其君用之則安富尊榮 是國トハ泛クソノ居ル処ノ國ヲサスソノ

君賢者ノ言ヲ用ル時ハ身 其子弟從之則孝弟忠信 子弟トハ泛クソノ國子弟トハ者ヲサス從

安ク富テ尊ク榮ルナリ トハソノ教ハイナリトハソノ教化ノ功上下ニ及フコト云蓋シニ從フク

不素餐兮孰大於是 大イナリトハソノ疑ヒモ亦陳橫彭勉カ如ク君子小民ノ功ヲ相勸ルノ義ヲ知ラスノ問ヘ

王子墊問曰士何事 墊ハ齊王ノ子ナリ何ヲカ

孟子曰尚志 志トハ夫各國攻ニ從ヒ下ハ則農工商賈各其ノ業ヲトルルニ其ノ間ニ

曰何謂尚志曰仁義而已矣 志ヲ高クスルノ實ナリ殺一無罪非仁也非其

有而取之非義也 此ヨリ以下ハ仁義ヲ以テ志ヲ高クスルノコトヲ云

在仁是也路惡在義是也 仁ハ人ノ安宅ナル故ニ身ヲ置ク処トス義ハ人ノ正路ナル故ニ身ノ由ル処トス云心ハソノ居ル処由ル処只

居仁由義大人之事備矣 仁ハ心ニ存スレテ體ナリ義ハ外ニアルレテ用ナリ士ノ志カクノ如クナレバイマ々大人ノ位ヲ得

車ノ如キハ固ヨリ 孟子曰仲子不義與之齊國而弗受人皆信之是

舍簞食豆羹之義也 仲子ハ陳仲子ナリタトハ仲子ニ義ニ當ラズコトニ齊國ヲ

莫人焉 親戚君臣上下

以其小者信其大者奚可哉 人タルモノ罪親戚君臣上下等ノ人倫ノ大道ヲス

挑應問曰 天子臯陶爲

士瞽瞍殺入則如之何 士ハ刑法ヲカサトルノ官ナリ應カ意ニラモヘタク舜ノ

以テ法ヲ守ルトイヘ天子ノ父ヲ刑スルトイヘ父ヲ殺スルトイヘ

孟子曰執之而已矣 天子

曰夫舜惡得而禁之 法ヲ禁シト然則舜不禁與

禁止シ玉ハサランナト 孟子曰執之而已矣

夫有所受之也 臯陶、法天ノ命ニ本ツキ聖人ノ制ニイテ法官世々受テ傳ヘテト

トイヘ氏ナシコラ禁 然則舜如之何 桃應又曰舜視棄天下猶棄敝

跽也 敝、壞也。ハマフレタレウラツテリ。舜此ノ時ニ至リテハ、ヒキテ去リテ海濱ニシテ

終身訥然樂而忘天下 訥、ハハト同シヨロコトナリ。海濱、ハ人トキ邊土ヲ云フ。舜

レ居テ臯陶カ法ヲカレ身終ルニテ其ノ親ヲ全フスルヲ樂シテナカク天下ヲ忘シトナ

リ孟子又カツテイヘラク舜天下ヲ視ルハ、ハハト同シヨロコトナリ。海濱、ハ人トキ邊土ヲ云フ。舜

ヘシト則チ此ノ意ト互ニ相發ス。此ノ章云心ハ士タルモノハ、法アルヲ知リテ天子ノ父ノ

尊シトスルヲ知ラス子タルモノハ、父アルヲ知リテ天下ノ大イナリトスルヲ知ラス蓋

シラノ心トスル処ノ者天理ノ極リ人倫ノ至リニアラスト云フナリ學者コレヲ察シ得ルヲ

權衡ニ及ハズトイヘ氏必カクノ如クニ常法ヲ守ル心アリテ然レ後コヤムヲ得ケルヲアル

時ニ至リテ變通ノ權ヲ擬スヘキナリ今ノ人イニタミツ此ノ心アラス。使權制ニ從ハントス恐ク

分レ忌憚ルコナキニ 孟子自范之齊望見齊王之子喟然歎曰居移

氣養移體 范、ハ齊ノ邑ノ名齊ハ都ヲカス喟、ハ歎ク聲ナリ居トハ凡ル處ノ位ヲ云

位尊ク勢盛ナル時ハ、ツテ奉養モ亦隨テ世ノツララスヨリテソノ氣 夫非盡人之子與孟子曰王子宮室車馬衣服多與人同而王

子若彼者其居使之然也 コレ居ノ氣體ヲ移スララス詳ニ難キトケリ大哉居乎

トハ人ノ居ル處ノ位繫ル處ノ甚大イナルヲ歎盡 況居天下之廣居者乎 天下ノ廣居ハ仁ナリ

如ニ甚々異ナルツテ居ル處ノ位 魯君之宋呼於埳澤之門 詳ニ前篇ニ見エタリ

孟子此章ノ意重キト此ノ句ナリ尹氏ノ云ク 曾君之宋呼於埳澤之門 然トシテ面ニテ背ニ蓋ルテ天下廣居ヲ求ル者ニ然リス

此ヨリ以下又居ノ氣體ヲ移スニ證ラク埳澤ハ宋ノ城門ノ名ナリ此門ニ呼ハハト八門

トチタル故ニ君自声ヲ發シ聞カシム或人云クコレ君從者ヲ呼テ命スル處ナリ門ヲ守ル

者ヲ呼 守者曰此非吾君也何其聲之似我君也 門ヲ守ル者魯ノ君

アラサレ氏声ノヨクワカ君 此無他居相似也 孟子上文ヲコトハリテ云クソノ聲ノ相似

ニ似タルヲアヤシム 孟子曰食而弗思豕交之也 此ノ章諸侯賢者ヲ待スルノ道ニア

養フソ愛ストハ心ニ愛情ヲ致スソ養フ分リニテ愛セサレ豕ヲ 愛而不敬豕畜

畜フ如クニ此ノ人ニ交ルナリコレ甚賢者ヲ待スル道ニソムケリ 之也 豕トハ犬馬ノ類ヲサスモレ愛スレ心誠ニ敬礼セサレ豕トノ 恭敬者幣之

卷四子四子

四

味將者也

恭敬礼ノ威儀幣帛ニヨリテアハルトイハレ幣ノイマダ奉ラザル時ヨリノステニコノ恭敬ノ心アリ然レ恭敬ハコレ礼ノ本實ナリ

無實君子不可虚拘

モレ只幣ヲ以テ恭敬トシ其實ナキ時ハコノ虚支ヲ以テ君子テ賢者ヲ待ストイハレ恭敬ノ實ナクマ

孟子曰形色天性也

形ハ一身百体ヲスヘテ云色ハ形ノ動クニツレテ

發用スル処ヲ云コレニ各天然ノ性ソナハツテソノ當然ノ理行レスト云処ナレ

惟聖人然後

可以踐形

踐形トハコノ形ニシテナリタル理ヲフ三行ヲ云常人ハ此ノ形アレバソノ理ヲフムコレヲ性ヲ盡セル人ナリ

程子ノ云クコレ聖人ノ道ヲ盡レ得テヨクソノ形ヲ充ルコトアリ蓋シ人天地ノ正氣ヲ得テ生ス萬物ト同シカラズ既ニ人タラバ溟ク人理ヲ盡レ得テ

然ソ後ニラノ名ニ稱フヘシ衆人ハコレアレバ而モ知ラズ賢人ハコレヲ踐メ而モイマダ盡サスヨクソノ形ヲ充ルハタ、聖人ナリ楊氏ノ云ク天杰民ヲ生ス物アレハ則アリ物トハ形色ナリ

則トハ性ナリ各ソノ則ヲ盡ス時ハ則以テ形ヲ踐ツヘシ

齊宣王欲短喪

三年ノ喪ヲソカクテ欲ス公孫丑曰爲君之喪猶愈於已乎

齊宣王欲短喪

三年ノ喪ヲソカクテ欲ス公孫丑曰爲君之喪猶愈於已乎

或紵其兄之臂子謂之姑徐徐云爾

三年セスハ期ヲセヨト云ハコレヲ或人ノ兄ノ臂ヲ子チモトラスヲ見テ子

亦教之孝弟而已矣

亦タコレニ孝弟ノ至情ヲ教ルノ外ナレ然ラハカト首カヘリニテ兄

王子有其母死者

其傳爲之請數月之喪公孫丑曰若此者何如也

王子ハ王ノ庶子ナリ其母ハ父ノ妾也

王子ヲ生タル者ヲ云傳ハ王子ノカシキナリ凡ソ父イマス時母ノタメニ士庶人ハ猶庶トナク杖

期ヲ服ス大夫ノ庶子ハ父ノ尊キニ厭サレテ大功ヲ服ス天子諸侯ノ庶子ハ只練冠麻衣

ノ既ニ葬リテコレヲ除ク蓋シソノカニタメニ此事アリ既ニ葬ルノ後即コレヲ除クニ忍ラ

マソノ傳王子ノタメニ數月ノ喪ヲロト請ヒケルナラン丑又コレヲケテワカヤムニサレリト

云ニヒキアハセン

曰是欲終之而不可得也雖加一日愈於已謂夫

莫之禁而弗爲者也

云心ハ王子母ノタメニ期ノ喪ヲ終ヘシ欲スレモ制ニヨリテ止スルヲナケレ而モ自ラ九者ヲ云ニシト○此章云心ハ三年ノ喪ハ天下ノ通喪天ノ

所以教者五

コレ君子人ヲ教ルノ術廣キヲ云ソソ五ツノ別アルコト或ハ教ヲ受ルモ人

品ノ高下アリ或ハ地ノ遠近時ノ先後同シカラサルニヨリテナリ五ツノ

見交リ有如時雨化之者

時雨トハ時ニ及ヒテフル雨ヲ云蓋シ草木ノ生スルコト種

变化ノ成就スルコトアタハサル時ハ多ク雨露ノウルホシラマツカリナリ此ノ時ニ及ヒテコレニ雨
フル時ハ則ソノ化スルコト速ナリ人資質ヨク学カツモリタレ上ニ君子ノ時至ルヲ見テ教ヲ施
シテ成スルノ妙モ亦カク如シ孔

子ノ顔子曾子ニラケルカ如キコトナリ **有成德者** 徳性ノ長スル処ニヨリテ裁制シテ
カゴ **有達財者** 財ハカト同ジソノ才能ノ及フ処ニシタカヒテ通

ニラキテコレニ效ケルノニナル孔子ノ樊遲ニ **有私淑艾者** 人或公地ヘタリ時ヲ多クシテ業ヲ
ラキ孟子ノ萬章ニラケルカトシ

ソノ道ヲタヘタル人ニ聞テコレヲヒソメトリテワカ身ヲ淑シ艾ムルヲ云淑クストハ善ニス、艾
ムトハ惡ヲ治ルナリコレ亦君子ノ教化ノ及フ処孔子ノ陳亢ニラキ孟子ノ夷之ニラケル

カ如クナルヲ云孟子亦自云クイニタ孔子ノ徒タルヲ得ス予私メテ今淑ストコレ亦
人品ノ高下ニシタカヒテ得ル処ノ大小アリ孟子孔子ノ道ヲキニテ私淑スルハ時雨ノ化ス

ルト徳ヲ成ストノ間ニアル **此五者君子之所以教也** 上文ニ五教ノ實ヲアケ
ヘシト金氏ノ説ニ見エタリ

スヘクレリコレ聖賢ノ教ヲ施スフ各ソノ才ニヨル小以テ **公孫丑曰道則高矣**
小ヲ成シ大ハ以テ大ヲ成ススツルコトコトノ人ナレ

美矣宜若登天然似不可及也 道ハ則高シ高キニヨリテ又美ナリコレヲ学ヲ
サル者ニ

似タリ **何小使彼爲可幾及而日孳孳也** 教ヲ施ス人ナシカノ道ヲソ
日々ニ孳々トメツトメテ学ハレメヤ

孟子曰 **大匠不爲拙工改廢繩墨** 大匠ハ
拙工ハツタナキタクニテ下ヲ云繩墨ハ寸ハスニナリ大匠ハ寸ハ拙工ニ教ニレ

スニカ子ヲ教メスニテス蓋シ不易ノ成法ヲオトシテヒキタ教ルヲタサレナリ

拙射變其彀率 射カノ前篇ニ見エタリ拙射ハツタナキ射ヲ
躍如也 上支ノ射法ヲウケテ云君子ノ久ラ教ルコト矢ヲ彀率ニ引キニツルメテラ生ダ

テソノ矢ヲキリナタサルガ如シ蓋シ夫ハツツノ機手トナリ自得ノ妙ニアリ言
語ヲ以テカタリツケラヒス君子ノ教ヘモ亦只學者ノタメニコレヲ学フノ成法ヲ以テスルノミニソ

コレヲ得ルノ妙ハハ告ルコトアタハサルナリ躍ハツルナリ自得ノ妙ハコレヲ学フノ成法ヲ以テスルノミニソ
ニ躍如トナリ出ルカ

中道而立能者從之 及ナキ中庸ノ精微難キニアラス易
キニアラサルノ道ヲ学フタメニ立テテキテ標的トスル処ナリ能ク学フモノハコレヲ見ツケテ

ソノ功積リテ熟スルノ後コレト相從ヒテツツナルコレ學者ヲ分ケセル詞ナリ○此ノ章云心ハ
道ニ天小淺深一定ノ体アル故ニコレヲ教ルニモ各堪歲ノ法アリテ益リテス亦損サレ

語リテ告ニモアラハサレサレ如アリノ點シテ告ケサルニモカサレサレ如アリトナリ **孟子**
曰天下有道以道殉身 殉ハ物ニツキヒテイツクマテモハナレサル義ナリ君子

ニテ常ニ行ヒ **天下無道以身殉道** 道ニタレテ行ハレサル時ハワカ身モ亦必カク
用ヒラル

未聞以道殉乎人者也 道ヲ托ゲ入ニ隨ヒテ利祿ヲ求メ權勢ニホコル
ハナレズ **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**

如クスルヲ我イマダコレヲキカスト **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**
コレ當時ノ仕ル者ラソノイマシム

四書章句

卷四 孟子

四三

不答何也 滕更滕ノ君ノ弟孟子ノ門下ニ來リ學ヘリ然ルニ孟子ツノ問フ処言ラツク

者ノヤウナルニ今カクノ如ク 孟子曰抑賢而問抑長而問抑有

勲勞而問抑故而問皆所不答也 抑ノ字義前篇ニ見ヘタリ長ト八年々々云

故ハ師ト故舊ノヨシミアルヲ云此ノアヘタリ者一ツモ心ニ抑ムアリテ問フ時内ムテ

馬 二ツトハ貴ト賢トヲ抑ムナリ此ノ二ツアル故ニ答ヘストリ蓋シ公都子カ疑ヒカレ貴ク賢

知ラザレバナリ○此ノ章云意ハ君子ハ人ヲ教ヘテ 孟子曰於不可已而已者無所

不巳 凡ソ人壽ヲ処置スルニ道理ノセズヤセサルヲ三ライテコレヲマメテセサルト

者薄無所不薄也 人ヲ待遇スルニ必ク慈厚ナルヘキ処ニライテ或ハ財ヲオレニ或ハ勞ヲハ

不及ノ弊ヘナリ 其進銳者其退速 修スル処ノ學業勇猛ニ直ニスモユクハ

日ノ浮氣ニ乘ラヌルトニス、ニユク者ハ必ス久キニタズノ退クモ亦速ナリコレ疑リニ心

ヲ用ルル大過ナルノ弊ナリ止ニツト過不及ノ不同アリトイヘテツイニ同クスタレハハルニ歸

孟子曰君子之於物也愛之而弗仁 物トハ禽獸草木ヲサス愛トハ

ルラトラスイニタ成長 其トラス木業ヲキテ後ニコレ伐ルノ類ナリ又コレ用ル

深シコレ人ヲ愛スル道ニ九ニ在リ 於民也仁之而弗親 民トハ泛ク人ヲサス仁トハ五ノ老ヲ

トメスノ幼ニ及ボスノ類ヲ云人ハ同ルイナル故ニ万物ニカガリテコレヲイツクレム然レ

民仁民而愛物 上ノ親ノ字ハ孝順慈和ノ道ヲ盡スソ下ノ親ノ字ハワカ親族ヲサス

廣メテ各々ノ処ヲ得セシムクアタハスヨリテ此段上文ヲウケテ三ツノモノ案綴次第ナシ

テカガレサル故ヲトク楊氏ノ云ク分同シカラスコノ故ニ施ス処差等ナキトアタハス所謂理

キナリト云ク此レハコレ 孟子曰知者無不知也當務之爲急 此ノ章國

人ツノ務ニ処テ知ルヘキコトヲ云知者ハモトヨリ事ニライテ知ラスト云処ナシサレ居常ニリノ

ノ序ヲ得テ治ミラスト云コトナクソノ智タルト大ヒナリコレ即チ智ヲ盡スノ術ナリモン徒ニ

ヲ得 仁者無不愛也急親賢之爲務 仁者ハ一ツトニ物ニライテ愛セスト云

務トスル時ハ國家ノ為ニ人ヲ得テ恩ヲ推スアミ子カラスト云コトナシ其仁

亮舜之

タリト博シ務トスハ上文ノ急トスト云義ニ同ジツ餘ノ義モ手止ノ如シ

知而不偏物急先務也堯舜之仁不偏愛人急親賢也物急先務

トハニツツトムヘキ処ノコナリコレ聖人ノ不能三年之喪而緦小功之察放飯

流歎而問無齒決是之謂不知務三年ノ喪ハ服ノ重キ者ナリ緦麻ハ三月小功ハ五月服ノ輕キ者ナリ察ハニストハ

コレヲ詳カナルコトヲキハムルヲ放飯トハ飯ヲホイミニ食フコトヲ云流歎トハ美ヲ流ルカ如クナ

カクスルコトヲ云此ノ二ハ不敬ノ大イナル者ナリ齒決トハ乾肉ヲ齒ニテクヒキルコトヲ云不敬ノ

小キナルモノナリコレヲ問フトトヒテレナフコトヲ云此ノ段詩ノ興体ノ如クコレヲ以テ今ノ

智仁ヲスル者カクノ如クナルコトヲイヒテ上文ヲスヘリ○此ノ章云心ハ君子ノ道ニシテルソノ

全体ヲ識ル時ハ心校カラス先後スル処ヲ知ル時ハ事序アリトナリ蓋シ全体ヲ識ル故ニ

コトナリ豊氏ノ云ク智先務ニ急ナラサレハ偏ク人ノ知ル処ヲ知リ偏ク人ノ能クスル処ヲヨクスト

イハ臣徒ニ精神ヲツイヤレテ天下ノ治ニ益ナレ仁賢ヲ親スルニ急ナラサレハ民ヲ仁クシ三物ヲ

愛スル心アリトイハ臣小人位ニ在テ下ニ達スルノ由ナレ聰明日々ニ上ニ

繼ハレテ惡政日々ニ下ニ加ハルコレ孟子ノ所謂務ヲ知ラサルナリ

盡心章句下

孟子曰不仁哉梁惠王也仁者以其所愛及其所不愛不仁者

以其所不愛及其所愛所愛ト所不愛トハ只愛スルノ淺ク深キヲ以テ云親

父ヲ以テソノ愛セサル及ホスナリ愛ニ淺深アリトイハ臣ツイニハ愛セスト云云ナシ

ヨリテニ音ニ云コレトウラカヒナル時ハツモ愛スル処ナキ故ニ不仁者ト云ナリ

曰何謂也コレソノ愛セサル処ヲ以テソノ愛スル処ニ梁惠王以土地之故糜爛

其民而戰之大敗此ヨリ以下ハ孟子ノ答ナリ糜爛トハトケタタル義アリコレソノ

ケタルコトモカヘリニスコレヲカリタテテ戰ハ齊ト領地ヲアラソウノ故ヲ以テ國民ノ野分ニタレ死シテコト

弟以殉之墨タカヒニテ民ヲ失ヘルコトヲ安カラス思ヒテフタヒ齊ト戰ハントスナラ其

大子也此ノ時ニ是之謂以其所不愛及其所愛也土地ハモノナリ土地ノ

ウタレタリ民ノヌウタレシコトヲ恐レテ親族ヲ戰ヒニ殉ヘテ死セシム是ソノ愛セサル処ヲ以テソノ愛スル

処ニ及ホス不仁者ノシハサナリ○此ノ章前篇ノ末三章ノ心ヲウケテ仁人ノ恩ハ内ヨリ

外ニ及ヒ不仁ノ禍ハ蹴キヨリ孟子曰春秋無義戰春秋ノ書諸侯ノ戰伐ノ

親キニ及フコトヲイヘリ内ニ文字加ヘテフホシイマニ兵ヲオコセル罪ヲアラハス一經彼善於此則有之矣

義トスル戰ナレトイハ臣就中テ彼ハ此ヨリ善

征者上伐下也

敵國不相征也

相アタリテ對

揚スル義ナリ共ニ諸侯ヲ名分相ヒトシキ國ヲ云諸侯全ト相征伐スル道
孟子曰盡信

書則不如無書 凡ソ事ヲカキシルス詞ハ重クイヒナシテソノ實ニスクモノミコシアリ
學者詞ヲ以テ其義ヲ害スルコトナカルヘモシ詞ヲ信ゾコシナクム

時ハ義ヲ謀ルコトアルナリ蓋シ書ノナキハ古代ノコトヲ知ラスルニスキズモシコトクノ書見信ス
レハ後世ノ詞ヲロキニキテ知邪ヲ文ルコト多シカクノ如クナルコトアルナキハレカサルナリ

吾於武成取二三策而已矣 武成ハ周書ノ篇 名武王紂ヲ伐テカヘリ玉フ時
史官ノ事ヲ記セル書ナリ策ハ付ノフ多キリ古ノ

書ハ策ニシルレテコレヲアミツラ子タリ孟子云コレヲ三策ニ言ラトルノ三ナリ餘ハ二ト
コトク信ジカタンド程子ヲモヘラコソノ天命ヲウケテ暴虐ヲ伐ノ心商ノ政ヲフルキニカ

ヘシテ仁道ヲホトコスノ 仁人無敵於天下 古語ヲ
法ヲトレルハ三ノト 仁人無敵於天下 古語ヲ

其血之流杵也 杵ハキ子ナリ 糞ヲツキ糞壘ヲツクニ用ルル也ナリ 一書ハ 函ノ字ニ作ル國
ハ穢ナリ武成三云ク武王紂ヲ伐ツ紂力前徒キヲ倒ニシ後ヲセメテ以テ

北ク血流レテ杵ヲ漂ハストウタル者多キコトヲ甚クイヒテセル詞ナリ 至ハ至極ノ義云ハ武王ノ
至仁ヲ以テ紂力至不仁ヲ伐ツニナラシメテ教スコトカクノ如ク多カラシトコレ孟子ノ信シカキ

一端ヲアケテイヘリ然レモ書ノ本意ハ殷人ニツカフ相殺ヒルコト云武王コレヲ殺ヒルト云ニ
アラス一説ニ書ノ言分明ナレバ孟子ソノ三カタクヲ知ラサルヲ云コト仁者ハ天下ニ敵ナシト

云フコト云云約カガニナラ 敵スル者アルニコソ死スル者多カラシメカクノ如クハアルコト
ナリ畢竟此ノ章ノ意ハ後世ノ人書ノ言ニマドヒテ不仁心ヲ長セシメテ恐テナリ 孟子

曰有人曰我善為陳我善為戰大罪也 陳ハ戰國ノ士ヲサス陳ハ陣ト同
陣トテスルコト云戰ハ合戰ナリ大

罪トシテ云 國君好仁天下無敵焉 即仁人ハ天下ニ敵ナレバ義ナリコレ
歟スルヲ以テ云 上文大罪ノ云ヲクナリ 南

面而征北狄怨東面而征西夷怨曰奚為後我 コレ湯ノ事ヲヒキテ上
段ノ心ヲ明ス義ハ前

篇ニ見 武王之伐殷也革車三百兩虎賁三千人 此ヨリ以下ハ又武王ノ
事ヲヒクコト心一段ト同

革車ハ兵車ハ車ヲ以テカサリトスルモノヲ云兩ハ車ノカズ一車兩輪ナハナリ虎賁ハ射
御ヲトル勇士ノ君ニ近キ者ヲ云三千ヲ書ノ序ニ三百ニ作ルイモコレモ武王ノ多勢ヲ用

ヒサルコト 王曰無畏寧爾也非敵百姓也 コレ書ノ泰誓ノ篇ノ詞ナリ 又今ノ書
ライヘリ 王曰無畏寧爾也非敵百姓也 小キ異ナリ 武王殷人ニ命スラクナ

シテ我ヲ長ルコトナカレ我來リテ紂ヲ伐ツハナンヂラヲ 若崩厥角稽首 若崩ハ
安寧ニセカタメナリナンヂ百姓ニ敵スルニアラスト 若崩厥角稽首 義前

篇ニ見エタリ 殷人武王ノ命ヲキニテヨロコビ 礼拜ノ
首ヲクダスト 獸ノ角ヲオロシテ地ヲツクカ知キコト 征之爲言正也各欲正已

也焉用戰 コレ湯武ノ事ヲスヘクテ云ク征ト云コトハ正ト云義ナリ 民暴虐ニヒタ
ケラレコト云クルニテニナ各仁者ノ來リテバ力國ヲ正サメク欲スコト

故三湯武二鼎伏スルコトカクノ如コレハ 仁 孟子曰梓匠輪輿能與人規矩不
者ニ敵ナキナリ 然レバナク戰フコト用ヒテ

能使入巧 梓匠ハ細工匠人ハ大工共ニ規ヲ云輪輿ハ車ノコトヲ云ツノ
教ルル處ノモノニ規矩ヲ用ルル法ハ告ケカタルヘシツノ巧ニテハコレヲ學フ者

ノ知術ニテリ大匠トイヘレコレヲサツクルコトアタハスコト詩ノ比徳ノ如シ學者受ルル處ノ教ノ
内ニライテ自得ノ妙ヲサトルヘキコトヲ云ム蓋シ下學ハ上學ノ傳フヘシ上達ハ必心ノ

内ニライテ自得ノ妙ヲサトルヘキコトヲ云ム蓋シ下學ハ上學ノ傳フヘシ上達ハ必心ノ

内ニライテ自得ノ妙ヲサトルヘキコトヲ云ム蓋シ下學ハ上學ノ傳フヘシ上達ハ必心ノ

内ニライテ自得ノ妙ヲサトルヘキコトヲ云ム蓋シ下學ハ上學ノ傳フヘシ上達ハ必心ノ

解語ニ申 孟子曰舜之飯糗茹艸也若將終身焉糗トハホレイヒナリ艸トハ

賤ナルトキニテナリク心貪賤ニ安ジシ玉ヲ故ニシテ野菜ヲ云コレ舜ノ貪

琴二女果若固有之子トナリ玉フ時ハ常ニエカケル衣ヲ服シ安閑ニ琴ヲフヒキテ

樂ニ三堯ノ二女カタハラニ儀リテツカフニツルカクノ如ク且ニ富貴ヲキハメ玉一匹ヲ心コレガ多

ナク富貴ヲ以テ内ヲ動カスナク只ツノ遇フ處ニ隨ヒテ安ジシツカ身ニアツカリワタル

孟子曰吾今而後知殺人親之重也親トハ父兄ヲラサレテ云ワレ今ニシテ

知ルトソノ心ハ下文ニ見エタリ蓋レ時ニ至テ後ニハ父兄ヲ殺スノ大事ナリ

殺人之父人亦殺其父殺人之兄

人亦殺其兄ソノ父其兄トハワカ父兄ヲ云フコレ必ツソノ然則非自殺之也一間

耳ソカコレヲ殺スニヨリテ人亦コレヲ殺ス時ハ三ツカラ殺スニアラストイハレ只彼ト我ト人ト

敬ノ久モ亦ソノ親ヲ愛敬ス敬ノ久モ亦ソノ親ヲ愛敬ス孟子曰古之爲關也將以禦暴

者ノ出入ヲ點檢シテ暴ヲ防セシメ今ノ世ノ關スルハ今之爲關也將以爲暴

トリテ國ノ利トシテ往來ノナマシラスコレ暴虐ヲセクガタメナラス

コレ關固ヲ以テ暴ヲスルナリ後世ノ暴ヲスルハ只關ノミアラズ孟子諸侯ニ用ヒラレテ先王

ノ政ヲ行ハル凡ツ此ノ類ニテ日孟子曰身不行道不行於妻子

親キ妻子トイハレ見ナラフ處ナク畏レ憚ル使人不以道不能行於妻子

ナラス事ヲ以テスレハ他人ハ云フニ及ハス我レニカレル妻子ニモツノ今スル處行ハレズ蓋レ道

ハ妻子ニ行ハレストイハレナラヨノツ子ノ事ニハサレウカフハ然レモスチナキコトセシムルハ妻

子モ亦ツカ孟子曰周于利者凶年不能殺

身ヲ死セシムルコトアタハスコレ詩ノ興周于德者邪世不能亂

積ニ厚キ時ハ其ノ用ル處餘アリナリ孟子曰好名之人能讓于乘之國

名ヲ好ム者ハ情ヲシタハメテ譽レテ子ガヒモトムル故ニ苟非其人簞食豆羹

見於色モレソレモトヨリ富貴ヲカロン眞ノ國ヲ克人ニアラサレバ反テ簞食豆羹ヲ

色ニアラハルナリ蓋シテ人ヲ見ルコトノ心ヲ用ヒテツトハ然レモテコレヲ見ズソノ心ヲ用ヒス

カロンル處ニライテコレヲ見レハカノ心底ノ安ニスル處分明ニ見レハ名ハヤキヨク

利ハニゴリテ異ナル処アリトイヘ共ニツノ人
欲ニ根サシテ出テ來ルコトヲ知ルヘシ
孟子曰不信仁賢則國空虛

仁賢ノ二字ヲキテコレヲイヘ仁人ト賢徳ノ人ナリ合セテコレヲイヘ仁徳ノ賢
人ナリト君仁賢ノ人ヲ信ノ用ヒサル時ハ國アリトイヘ虚ク人ナキカ如シ 無禮

義則上下亂 禮義ハ貴賤ノ分際ヲワキテ人民ノ志ヲ定メルルルル
者ナリヨリコレナキ時ハ上下ノ品混乱スルナリ 無政事則

財用不足 政ハ大綱事ハ事目ナリ共ニ法制禁令ノ云賊ハ穀穀物ノ
リ用ヲナス者ナル故ニ財用ト云モ政事ノ法度ナキ時ハ生スル道ナク

レヲ取ク時ナクコレヲ用ルノ限ナレヨリ財用ツ子ニ不足ナリ○尹氏ヲモラフ此ニツク者
ハ國ヲオサムルノ大要ニ中ニモ仁賢ハツ本ナリ仁賢ナキトキハ礼義政事ニ其道ナク

孟子曰不仁而得國者有之矣不仁而得天下未之有也 不仁ノ

私智ヲハセ用フレハ千乘ノ國ヲモヌスニトルコアリ然レト天下萬民ノ心ヲ得テコレニヨリタル
コトイダフンタメアラザルナリ鄭氏ヲモヘラク秦ヨリ必不仁ヲ天下ヲ得ルモノナキナ

ラス然レトモニナ一ニ世ニコレヲ失フ得ルトイヘナラ得ザルカ如シ凡
ソ天下ヲ得ルト云ハ必ス三代ノ王者ノ如ク而後ニイハレタル者ナリ 孟子曰民爲貴

凡ソ天下國家ハ必民ヲ以テ本ト 社稷次之 社ハ土地ノ神稷ハ穀ノ神ナリ凡ソ國ヲ
スヨリテ最貴キ者ハ民ナリ トリタル時ハ必ス社稷ノタメニ増ラヌウ

ケテイハヒ一ツル此ニ二神功徳同ク相ナス故ニ併セツルナリ而メ穀
穀三國土ニモナルコトイヘモ亦ニ民ノタメナレバ社稷ノ貴キコト民ニツク

君ハ又社稷ヨリモ輕 是故得乎丘民而爲天子得乎天子爲諸侯得

乎諸侯爲大夫 是民トハ田野ノ民ヲ云テ王リテ微賤ナリトイヘ君ソノ心ヲ得ルニ至ル
時ハ天下ノ人ニナコレニ歸服スコノ故ニ丘民ノ心ヲ得テ而後ニ天子ト

ナルコトヲ得ルナリ天子ハ至リテ尊貴ナリトイヘ其心ヲ得ル者ハタ、諸侯トナルニスス諸侯
ハ天子ニツキテ貴レトイヘ臣ソノ心ヲ得ルモノハタ、大夫トナルニススコレ民ヲ最モ重貴ナリ

スルノ 諸侯危社稷則變置 國ハ社稷ノ存亡ニカレルヲ以テ國ヲ稱シ社稷ト云コ
レ故ナリ 諸侯危社稷則變置 國ハ社稷ノ存亡ニカレルヲ以テ國ヲ稱シ社稷ト云コ

此ノ時ハタ、君ヲ變改メ別ニ賢君ヲタテ 犧牲既成粢盛既潔祭祀以時然而
置クコレ君ハ社稷ヨリモカコキナリ 犧牲既成粢盛既潔祭祀以時然而

旱乾水溢則變置社稷 犧牲成リ粢盛潔キ義ハ前篇ニ見ヘタリ祭祀以時ハ祭
災ヲフセグアタスナラ旱ノ乾キ水イテ溢ル時ハソノ禮ヲコホチテ社稷ヲ新ク變置スコ
社稷ハ君ヨリ重ケレ臣民ヨリ輕キナリ此ノ章ハ蓋シノカニ諸侯民ノ重キコトヲ知ラスノコト

孟子曰聖人百世之師也 聖人ハソノ德行
ニ發セリ 孟子曰聖人百世之師也 聖人ハソノ德行

ルヲ以テヨク又心ヲ感動ノ世々ラクスルトイヘ臣ソノ風化キエラトトスヨリテ百世ノ人師トナル
者ナリサレ臣コニ伯夷柳下惠ヲソノ例ニテクルコト蓋シ堯舜周孔ノ聖徳ハ中正ナルヲ以テ云ニ及

ハタニ手ハ清和ニ偏ナリトイヘ臣皆聖域ニ至レル 故聞伯夷之風者頑夫廉懦夫
ヲ以テ亦ヨク百世ノ師タルコトヲ以テナル故 故聞伯夷之風者頑夫廉懦夫

有立志聞柳下惠之風者薄夫敦鄙夫寬 コレニ子百世ノ師タル驗ヲト
ク說三ナ前篇ニ見エタリ

奮乎百世之上百世之下聞者莫不興起也非聖人而能若是

奮乎百世之上百世之下聞者莫不興起也非聖人而能若是

奮乎百世之上百世之下聞者莫不興起也非聖人而能若是

奮乎百世之上百世之下聞者莫不興起也非聖人而能若是

乎 其風ヲ百世ノ上ニフルヒテ百世ノ下コレキク者感動ノ興リ起タスト云フナシ聖域ニ至レル人テラスノヨクカクノ如クナルコトヲ得シヤ 而況於親炙

之者 親ハシタレク多クハヤチリ云心ハ百世ノ下ニテ其風ヲキク者タニカクノ如シ而ルヲ況ヤト云フナシ

孟子曰仁也者人也 仁ハ人ノ人タル所以ノ理ナリヨリテ直ニソノ徳ヲナツケテ人ト云蓋レ彼加ノ声ハ此ガノヨミノ如シ古人此義ニヨリテ仁ノ字ヲ

訓ノヒト、合而言之道也 仁ハ人ニ具レル理ニ体ナリ人ハソノ理ヲウケソナハル処ニヨムコトアリ

孟子曰孔子之去魯曰遲遲吾行 二仁ヲ人ノ身ニ合セテソノ行ハル、処ヨリコレヲ道ト云中庸ノ性ニ率テラ道ト云コレナリ

也去父母國之道也去齊接淅而行去他國之道也 此章ハ重出ナリ 孟

子曰君子之厄於陳蔡之間無上下之交也 君子トハ孔子ヲサシテ云フ厄ハ厄ト同シ陳蔡ハ二國

ノ名ソノ間ニ厄トハ夫子楚ニキマテ時陳蔡ノ地ニテ難厄ニアヒ糧タユルコトアリソコレソノカミノ君臣ニテ惡ク賢ヲ尊スヲ知ラストモニ交ルヘキ人ナカリシカ故ナリ

貉稽曰貉八姓稽大不理於口 理ハ賴ノ字ノ義ナリ云心ハハナハタ諸人ノ口ニシ指ハ各稽大不理於口

孟子曰無傷也 害ナシクシカラヌコトト 士憎茲多口 憎ハ増ノ字ノ誤ナリ云心ハ士タル者ハ已カ道ヲ直クセノ流

俗ニシタカハサル故ニニス、多ク人ノ口ニカハルモノソト程子フモヘラク小人多ク不義ヲ行厄人却テソノ事ヲイハス君子ハイタ一事ヲナサル二人ステニ議論ヲ生スコレ亦理ノ常

コノ故ニ傷フ 詩云憂心悄悄慍于羣小孔子也 詩ハ卿風柏舟ノ篇ノ詞ナリ情々トハウツル兒羣小ト

ハ多ク小人ナリコレ衛ノ仁人羣小人ニイカラレタルコトヲ作りタル詩ナリ孟子コレヲ引テモヘラク孔子ノ當時多ク人ニソシラレ玉フ此詩ノ詞ニアタルヘシト 肆不殄厥

慍亦不殄厥問文王也 詩ノ大雅綿ノ篇ノ詞ニ太王昆夷ニツカフル時ツイニカレカイカリヲ多クアタハサレ厄亦ソノ身ノホシラモヲトサスト云

ヲ孟子又コレヲ引テラモヘラク文王紂力難テヒ玉フ時モ亦カクノ如ク此ノ詩ノ詞ニアタルヘシト蓋レコノ二段聖人タモ人ノソシラレヌカレサルコトヲアゲテ上支傷ヲナキノ意ヲ足ス○尹氏

孟子曰賢者以其昭昭ヲモヘタク人モシワレラソレバタタ自処スルコトイカント顧ミテ 孟子曰賢者以其昭昭ノノ我ニテ道ヲツクサマクノ三人ヲウラミトカムヘカラス

使人昭昭 昭々ハ明ナルソコレ人ヲ治ル者ニツキテ云自ソノ明徳ヲ明テ後ニヨク人ヲノコレヲ明ニセシムトナリ 今以其昏昏使人

昭昭 昏々ハクフキナリソノアタハサルコトヲ云フ 孟子謂高子曰山徑之蹊間介然用之而

成路 徑ハ小路ナリ蹊モ亦ニチナリ徑トハ途ク云蹊ハ人ノフミケテトアル処ヲ云介然ハチチチノ義ナリ路ハ大路ナリ云心ハ山路ノツタヒエク処モ人コレニ由リテ往來スル時ハ

忽然而トノ大路 爲間不用則茅塞之矣 忽トナルトナリ 爲間不用則茅塞之矣 莫レバラクモコレニ由ラサル時ハ則又茅塞フサカリテニチアカズナルゾ此ニ段ハト

今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣

トナルナリモコレハラクモコレヲ放チテ求ルコトヲ知ラサレハ則又私欲ニチフサカリテワカ身ノアリカラモ知ラズ是コレニ由ラサル時ハ茅コレヲフサクナリ心コレ危ク道ノ心コレ微

今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣

ナリト云フトコレヨリ 高子曰禹之聲尚文王之聲声ハ八楽音ヲ云禹ノ樂ハ

孟子曰何以言之高子ハ評論曰以追蠡追トハ鐘ヲツリカクル処俗云龍

リ禹ノ時ノ鐘今ニアル者ソノ追蠡ノハムルカ如クニナリテチギレトスコレソノ樂ヨキニヨリ

テコレヲ用ル者多クツカクノ如シ而シテ文王ノ鐘ハ然ラズコヲ以テ禹ノ樂ノ文王ノ樂ニサリ

タルコトヲ知ルト曰是奚足哉ヲ事ナシガコレヲ知ルニ足ラシヤト城門之軌兩馬之力與軌ハ車輪ノ

アトナリ兩馬ハ車一兩ヲ云馬二匹カクハナリ蓋シ城中ノ大路ハ車九兩ヲナラフルホトナリニ

ヨリテ車ヲヒキヒキテ軌ノアト淺シ城門ハ只二兩トナリ故ニ前後同シ処ヲヒキテ軌ノ

アト深シノ深キト一時二車トナラフアトナラシヤト久シクタビカサナリテ然リト云心ハ禹ノ

時ハ文王ヨリ前千餘年ナル故ニツノ鐘ノ追ソコ子テキレトス用ルモノノ多キ故ニアラスコトヲ

以テ兩樂ノ優劣ヲ議スヘカラストナリ高子古樂ノヲモムキヲ知ラスノアサキ処ヲ以テトフ

故ニ孟子モ亦コレニ答ルコト只カクノ如シサレ此ノ章ノ文義モト分明ナラスコレハ只從來相傳

ノ一説 齊饑 陳臻曰國人皆以夫子將復爲發棠殆不可

復棠ハ齊ノ邑ノ名ナリサキニ齊國四年ナリ時孟子ヲスハメ棠邑ノ倉ヲヒラキテ能ク

又自ウカヒトフ此ノ事ホトシドフ多ビ 孟子曰是爲馮婦也馮婦ハ人ノ姓名ナリ

セラルレキカト殆トハ疑フ詞ナリ 晉人有馮婦者善搏虎馮婦ハ人ノ姓名ナリ

ヨセテ云ク我コレヲフタヒセムコレ馮婦カシ 馮婦攘臂下車馮婦虎ヲトラレトノ

平爲善士ツイテラフササ改メ則之野アル時野有衆逐虎負嵎莫之

設櫻嶠山多ニナリ諸人アリテ虎ヲ逐ヒタテケルニ虎山嶠望見馮婦趨而迎之

諸人馮婦カ来レルヲ見カケテ執リトモナリ 馮婦攘臂下車馮婦虎ヲトラレトノ

衆皆悅之人ニテソノ子カラキ其爲士者笑之ソノ中ニ士タルモノハカガハタビ改メ

齊王ステニ孟子ヲ用ルアタハ孟子モ亦國 孟子曰口之於味也目之於色

也耳之於聲也鼻之於臭也四肢之於安佚也性也此性ハ天性ノ

發スル処ヨリ云コノ五ツモノ欲モ亦ミナ人 有命焉或ハ稟ル処ノ分限ニヨリ或ハ過フ処ノ

ノ天然ニアル処ナリ故ニ性ナリト云フ 君子不謂性也君子ハソノ命ノアル処ヲ知リテコレニ安レヌヨリテ

ト云者ノアルナリ 仁之於父

子也義之於君臣也禮之於賓主也智之於賢者也聖人之於

天道也命也父子ノ恩愛ハ仁ヲ主トス君臣ノ分限ハ義ヲ主トス賓主ノ交際ハ礼ヲ主ト

孟子

三

有性焉 此ノ性ハ本然ノ理ヲ以テ云理ハ命ノ 命ニテ变化シ至善ナルヘキ故ニコレヲ命トイハスツト多ク性ノ善ニカヘリ凡ソ性命ニ各ノ理

命ニテ变化シ至善ナルヘキ故ニコレヲ命トイハスツト多ク性ノ善ニカヘリ凡ソ性命ニ各ノ理 氣ノ辨アリトイヘ混ニシテアラズ然ルニ世ノ人ハ上ノ五ツノ者ヲ性ノアル処トコレヲホシ

曰善人也信人也 義ハ下文ニ見エタリ 何謂善何謂信 不害 曰可欲之謂善 凡ソ天下ノ理ヲ善ナル者ハ欲スヘシノ惡ナル者ハ惡ムヘシトナリ欲シ

謂信 信ハ實ナリソノ欲スヘキハ善實ニ已テアリテ善ヲソノムコト好色ヲソノムカ如ク惡ヲソノ 時ハ則コレニ居ルニ安クコレニ資ルニ深ク美ニ大ナルニヤウヤクニヌムヘシモニ欲スヘキ

充實之謂美 充實ハ三チニツルナリ善ノ信ナルノイヨク學ガラツテ必ソノ分量ニ三チニ ツル時ハツク美ナルノ内ニ至極ノ外ニ 充實而有光輝之謂大 光輝ハヒカリカマシク

聖 聖ハ通セスト云外ナキ義ナリソノ明德毫忽ノ障リテク天道ト合ニソノ人類ノ極致ナリ 至極ニ又此ノ上ニ加フヘキ外ナレヨリテコレヲ大人ト云フナリ 大而化之之謂

之之謂神 程子ヨモラ多只コレ聖徳ノ神妙ニソノ測リ知ルコト 樂正子二之中 勉メス從容トシ道ニテタルノ聖人ナリコレ人カノ能スル処ニアラスコノ故ニ張

四之下也 善信ノ間ニアリテ美大聖神ノ下ナリ朱子ノ云クニツ 孟子曰逃墨 必歸於楊逃楊必歸於儒 墨氏カ兼愛ハ外ラツトテ人情ニトラレ揚氏カ為我

今之與楊墨辯者如追放豚既入其苙又從而招之 儒タル者カレガ陷リ窮ルコト久キアラハレニ悔ヒ悟ルコト 新ナルヲトリテ異端ノ逃レ來ルモノヲフガレ則ウケイレ

孟子曰有布縷之征 縷ハイトナリ征ハ 粟米之征 粟ハモミ 力役 至リ義ノ 盡セルナリ 孟子曰有布縷之征 縷ハイトナリ征ハ 粟米之征 粟ハモミ 力役

孟子曰有布縷之征 縷ハイトナリ征ハ 粟米之征 粟ハモミ 力役 至リ義ノ 盡セルナリ 孟子曰有布縷之征 縷ハイトナリ征ハ 粟米之征 粟ハモミ 力役

孟子曰有布縷之征 縷ハイトナリ征ハ 粟米之征 粟ハモミ 力役 至リ義ノ 盡セルナリ 孟子曰有布縷之征 縷ハイトナリ征ハ 粟米之征 粟ハモミ 力役

之征

カ役ハ人加ノ夫役ナリ軍陣工傳ナリ 君子用其一 緩其二 布縷ハ夏ニトリ粟

ハ冬ニトルコレ定例ナリ君子ノ政ラスルニ必コノ例ヲ多クス 用其二而民有殍

一時ニ各タマフワトリ用ヒテ餘ノニツハユルヘトラス 用其三而父子離

邦ノ本ナリヨリテ稅歛急ナル時ハ則チクノ國必スヤウシ戦國ノ時民ニトルノ定法ナレ一時ニ

ツラトリニツラトリ又分外ノ賦征アリコノ故ニ孟子古法ヲツヒラカニアケテ今ノ虐政ノ害

ヲナスコトヲ 孟子曰諸侯之寶三 寶トハコレヲ重シコレヲ貴ヒテ敢テカロシメテ

土地人民政事 土地ハ即國土ナリ人民ハ土地ヲ守ルル処ノモノ政事ハ土

殃必及身 諸侯モ此ノニツラ重責セズ無用ノ珠玉ヲ寶愛 盆成括見殺

齊 盆成括ハ姓 孟子曰死矣盆成括 善クセシトナリ 盆成括見殺

聞君子之大道也則足以教其軀而已矣 君子ノ大道トハ仁義忠信

テ死 門人問曰夫子何以知其將見殺曰其爲人也小有才未

キカサルモノハ必スソノオラ時ニ安行スコレフノ禍ヲトル所以ナリ徐氏ノ云ク君子ハ其常

足レリ道ハタトハ主人ノ如シオハタトハ奴僕ホシイミ主人コレヲ制スルナクハ豈ノ家ホ

ホアルモノ禍ヲ擗タスニアラスホイヨク大イニ禍イヨク速ナルナリアリ般紂智伯カ知キニレ

館於上宮 上宮ハ旅館 有業屨於牖上館人求之弗得 業屨トハ織リ

作レル処コレヲ屨ノ上ニキケルカウツテタツセテ得ル 或問之曰若是乎從者之

廢也 從者トハ門人ノ從ヒ來ル者ヲサス或人此ノ事ヲ孟子ニ問 曰子以是爲竊

屨來與 是トハ從者ヲサス云ハコレヲワレニツキキヒテコレニテ從ヒ 曰殆非也 或人カ

ツル然ハ殆ント非ナラント 夫子之設料也往者不追來者不拒 料トハシナク

教ルノ法德行言語政事文學等ノ科條ヲミラケテテクノ人ノ才徳ニシタカヒテ教ハ成ス

往ク者トハ今ヨリサキノコト云スキツルヨレハ追テタツキハメズ只來リテ教ハコウクハ者ヲ

ハウケテ拒 苟以是心至斯受之而已矣 云心ハモシ道ニムカフノ心ヲ以テ至ラハ

前ノ必善ナルヘキニテハ夫子モウケアスアタハヒトナリ孔子聖童ノ童子ニアヒ 孟子曰

玉不心モカクノ如シ或人ノ言聖賢ノ言ニ合フアルヲ以テ並ニコレヲ記セリ

孟子曰

人皆有所不忍達之於其所忍仁也 人三才必人ノイタニ忍ヒサル処アリコレ即

偏物欲ノ礙ハレニヨリテ此ニハヨクノ忍ヒサル心ヲ推シ及ホセ居被レニハヨクセサルヲアリ人ヨク

ノノ忍ヒサル心ヲヒキノバシテソノナラ忍フ処ニ通達スル時ハ事トシテラスト云フナレコレ

仁人皆有所不為達之於其所為義也 人三才必カリソメニモ為サル処アリ

ナリ 餘ノ文義ハ上 人ヲ害モク欲ス 人能充無欲害人之心而仁不可勝用也 ル心ナキハコレ人

ノ段ニ同シ 三才必アル処ノ忍ヒサル事實ナリヨクコレソノ忍フ処ニ達メテノ分量ニ三才

キハムル時ハ仁ノ發用キハマリツクルナレ不可勝用ト用ヒツセメト云義ナリ 人能充無穿

踰之心而義不可勝用也 穿ハ允ラウカツ踰ハ屏ヲコスニタスミヲスルヲナリコレ人

ニテ必スアル処ノ為サルノ實ナリ餘ノ文義ハ上ノ段ニ同 人能充無受爾汝之實無所往而不為義也 爾ハナシ汝ハナシテラト云詞

ナリ 孟子トク人或ハタメニスル処アリテ人ノ我ニナシト云詞ヲ撰シテウクルナレ内心ニハ必ハチイカクテ

一ケガハサル処アリコレ即誠實ノ真情ナリ人ヨクヲ實ヲ推シヒロメテ充ル時ハ中心外事ユク処ト

ノ義ナラスト云ナレ蓋シ穿踰ノハ姦惡ノ心アレ罪ヲ悞ルガタメニセサルモノアリ爾汝ヲ受テ

サル心ハ最眞切ニシタレモ自サトリヤスキナレニヨリテフタビコレヲサレシテ人ヲ羞惡心ヲ擴充シ

スルニ手ヲ下ス 士未可以言而言是以言餽之也 人トモノ云フニ必スレモイフニ

必ス知ラレハ 可以言而不言是以不言餽之也 モシイヒハ

動カスアルハコレノ言ヲ出ラテ 可以言而不言是以不言餽之也 タスヘキ

人ノ感激ヲ探クテ取ルナリ 是皆穿踰之類也 上ニ段ニ云外ソノ事

処ヲトサラニ黙シヒカテ人ニトヒウカハシムルハ 是皆穿踰之類也 最モ隱微ナリトイ

コレソノイハサル処ヲ以テ人ノ來問ヲ探取ナリ 孟子曰言近而指遠者善言也 指トハ味

トリカコレル処ヨリヲホヘズコレヲ犯スアリヨリテ又コレヲ例トス凡ソ羞惡ノ心ヲ推スモノ必コノ

類ニ至ルニテモコトククノゾキステク而後ニヨクソノ心ヲ達シテ充ツトフルヲ示セリノ論語ニ云

ク色厲而内存諸小人其猶穿窬之盜也與表記ニ云ク君子不以色親人情疎而貌親在

小人則穿窬之盜也與トコレモ亦三才 守約而施博者善道也 凡ソ行用ルノ道要約正簡ナルモノハ

穿窬ノ類ニノ君子ヲカクコレヲ惡メリ 君子之守脩其身而天下平 守ル然

云凡ノ言論ノ平近明自ナル者ハキトワヤスココレキイルニシカヒテソノ滋味趣向イヨク深

ク遠シコレ善言ナリモシ從ニ淺近ニミナル善言ニアラスソノ偏曲隱怪ナル説ハ必フサカリ多

ク遠シ其旨深遠ナラ 君子之守脩其身而天下平 君子ノ

心ハ君子ノイワル処目前ノマチカキトミソノ内 守約而施博者善道也 守ル然

ニ至極ノ道理存スコレ言近ク旨遠キリ 人病舍其田而芸人之田所求於人者重而所以自任者輕

身ヲ脩ルヲ以テ要トスヨクソノ身ヲ脩ル時ハコレヲ事業ニ措キテ家齊イ国治リ天下平

ナルニ至ルソノ施ス処順テヤスキ故ニソノ及フ処カキリナレコレ守ル処約テ施スヲ博ナリ

人病舍其田而芸人之田所求於人者重而所以自任者輕

上文ノ君子ニ對シテ常人ヲサス上ニ句ハ田ノ草ヲトルヲ借リテ下ニ句ノ心ヲ起セルハカリナリ
 云心ハ常人ノレハガニ病スニキハ人ヲ正スニ責メ求ル處重ク身ニ及テ自脩ルヲワスレ
 凡フ巴レニアツカレトコノカ任トコレニカヲ用ルノ輕キナリ任トハ荷フナリコノ守ル處
 約ナラズノ施スルノ博カランヲ求ルノ病ナリ言近カスノ音遠カランヲ求ルノ病モコレニ
 例ナリ孟子曰堯舜性者也堯舜ノ聖徳ハ天性ヲ至ウツテガレコトナラフ處ナク生知安
 ルハレ

湯武反之也 性ノ本然ニ反リテ聖人ニ至レルナリ **動容周旋中禮者盛徳**

之至也 此ヨリ以下ハ性ノミナレ聖人ノコトヲ謀ニトク動容トハ動キハ多ク容儀ナリ周旋ハ

禮節ニテアルハコレ **哭死而哀非爲生者也** 此ヨリ又上文盛徳ノ中ニツキテ各一事

經徳不回非以于祿也 忠信ノ類平常ノ徳行ヲ

言語必信非以正行也 言語必忠信ヲ

君子行法以俟命而

已矣 此段ハ反之ノコトヲ云法トハ天理ノ當然ナル處ヲサス君子ヲ行ヒテ吉凶禍福ス天

命ハ到來ニカセテコレヲマツ少モ計較ノコレヲ求メコレヲノカル心ナレ只一向ニ法ヲ行ハ

則貌之勿視其巍巍然 此大人ハ當時ノ尊貴ナル人ヲサス巍々トハ當貴ニシテ高ク

堂高數仞椽題數尺我得志弗

爲也 椽題トハ椽ノ上ニカケルレヨクカクノ如クナル時ハ **堂高數仞椽題數尺我得志弗**

爲也 然ノ端下文ニアクル處モ亦然リ得志トハ大人ノ位ヲ得テ志スル處ヲ行フコトヲ云

食前方丈侍妾數百人我得志弗爲

也 前ニシテ四方ニテニノ **般樂飲酒驅騁田獵後車千乘我得志弗爲**

也 驅騁ハ車ヲスルナリ人テタタヒタクニテ酒宴ヲ出テハ **在彼者皆我所不爲**

也 今自ニカクルコトアルベシレハ必スニナスニキ處ナリ而シテ我レアリテ守ル處ハイツレノ時モ古

聖賢ノ制法ヲ分際ヲコヘヲカスノナキモノナリ然レハ我ナシカク巍々然タルモノヲ畏レシヤト

揚氏ノ云ク此章孟子己カ長キヲ以テ人ノ短キニタク **孟子曰養心莫善於寡**

欲 心ヲ養フノ術欲ヲ制スルコトヨリモヨキナレシノ義ハ下ニ見ヘタリ **其爲久也**

トニツノ言ノ大ナルヲ云コレ云心狂者ノ志スルノ詞ニ出ルク然トシテ天
イニヤモスレハスナチ古人ト稱ノ何事ニモ古聖賢ヲ擬スルナリ 夷考其行

而不掩焉者也 狂者ノ志カクカクナレバ日用常行ノ道理ヲ以テタイカニ考ヘシハ行スル
及ハズトクイフ処ヲオホヒフサクニ足ラサルトコロアルモノナリ

狂者又不可得欲得不屑不潔之士而與之是環也是又其次
也 コレ上文ニ孔子狂狷ヲ並ニ思ヘルアルニヨリテ又狷者ノノミ及ヘリ不潔トハ無道非義ノルイ
ヲサスコレヲ屑トセストハカククニモコレヲスルノノミハ狂者又多ク得ガタキ

故ニ之不潔ノノヲ得テセサルノ士ヲ得テコレニクニセマク欲スコレ所謂狷者ニ又狂者ノ次ナリ
ト蓋シ狂者ハ知ノスキタルモノナレバ志スル大イニ道ニスムヘシ狷者ハ行ノスキタルモノナレ

氏字ル処堅クク身ヲ失ハズ 孔子曰過我門而不入我室我不憾焉者
コレニナ聖人ノトレル処ナリ

其惟鄉原乎 此レヨリ下ハ萬章又鄉原イラトバトノマツ夫子ノ言ヲヒク郷原トハ原ハ原
トハサレトウラミト思ハサル者ハツレバ郷原ハカリクト蓋シ郷原ハ狂狷ノ如クニ一段ノ見識アル

者ニテラス一心ニ只人ノ我ヲヨクイハンノミヲツトメテ我カ身ノ 鄉原德之賊也 賊トハツ
至ル処ノ浅深スル処ノ是非ヲ照檢スルニ心ヲ用ルモノナリ

ナリ夫子スナハチ郷原ヲ惡ク思フヲカクノ如シ蓋シ之ノ德ニ 曰何如斯可謂之
アラス真ノ德ニマキレテ害ヲナス故ニ德ノ賊ト云フナリ

鄉原矣 原トイハルモノト 曰何以是嚶嚶也言不顧行行不顧言
トヲ至ニ見アセテ相タガハサルマウニスルヲ云コレ云心ハ狂者何

則曰古之人古之人 己郷原カ狂者フツレク言ナリ言顧行行顧言トハ言ト行
ヲ以テカカクノ如クニ嚶嚶ト大言スルノ言ヲ考フヘハノ行言ニ及

ハスノ相顧ミサル処アルニナンゾ事トバニアレハスナチ古人ヲ稱スルヤト 行何爲躊躇
涼涼 義ナリ人ニシテレサルヲ云コレ云心ハ狷者ノ行ナラズ必スレモ已ラズ堅ク守リヒトリ

多クテコクサキハカクシカラス一世ノ人ニウツミサケラレテスグルト 生斯世也爲斯世也善斯可矣 郷原自ノ
人ニウツミサケラレテスグルト

云ク人ステニ此ノ世ニ生ル時ハ只此ノ世ノ人トコソナルヘケ 闒然媚於世也者是郷
ナレテノ人ニヨキモトタニ思ハルバコレニテニヨント

原也 コレ孟子評辭ノ詞ナリ闒然トハトチカクス心媚ルトハ人ノ氣ニイラシクヲ求ムル義ナ
リワガ心底ヲトチカクメ只世ノ人心ニカナムトノミ求ルハ己郷原ノ行迹トナリ

萬章曰一郷皆稱原人焉無所往而不爲原人孔子以爲德之
賊何哉 章ツカカハレク原モ亦謹厚ノ名目ナリモレニ郷中ニナ原人ト稱スルハ

無擧也刺之無刺也 非トトクノ大弊アレキコト云刺トハツ過失ヲサレ出ヒテ云ナリ
郷原已レラ処スルノ術ヨクワガスキマラツクロヒカサル故ニ人ソノ

惡キトハ知リナカラコレヲ非議セトスルニアグヘキ処 同乎流俗合乎汙世 流俗トハ
ナクコレヲ責刺セントスルニサスヘキ処ナキト

云々レ下水ノ流レヲツルガ如クナルヲ云コレニ郷ノ俗ヲサス汚世トハヒロク世間ノ俗ノ汚レヲ
云郷原人ニシレハルノ術世俗ノクタルモノコレモ論セズ只遠近ノ人ニナ合同ノスクス即チコレ

世媚ル居之似忠信行之似廉潔
居之上心ヲ多ククヲ云郷原カ心ヲ立
コトナリノ忠信事ヲ行フノ廉潔ニナ真實ナル
者ニテラス只世俗ノ忠信廉潔ト思ヘル処ヲ以テムカヒツ
レサソツヘワタリテツモ心ニ本ツキ理ヲ正レウスルコトナリ 衆皆悅之自以爲是而

不可與人堯舜之道故曰德之賊也
郷原ノ人トナリカクノ如クナル故ニ諸人ニ
テ悦ニテ好ミツイニ亦自コレヲ是ナリ

ト思ヘルナリサレ畢竟是ニ似テ非ナルヲ以テコレト共ニ堯舜ノ道ニイラレコレガタメニ自
他ノ徳ミナクコトナルヲ以テ徳ノ賊ト云ナリ蓋レ堯舜ノ道ハ中道ナリ狂狷ハミナ中ニスキ各
トイハレコレヲ裁正スレハナラ中道ニスムヘ郷原ハ及テ中道ニ似タレ元來似セモノナリヨリ
テツイニ眞的トナル道理ナキナリ或人云ク中道ハコレト云キテ王狂狷ハ己瑕アルノ玉郷原ハ己
瑕テキ石ノ玉ニ 孔子曰惡似而非者

此ヨリ又夫子ノ言ヲヒキテ郷原ノ世ヲミトハシ
テ徳ノ賊タルヲ明ス云心ハワレ凡ノ物ノ眞偽
テ眞ニ非ルモノヲ惡ムト 惡莠恐其亂苗也
莠ハ苗ニ似タル草ノ名ノツノ苗ニミキレテ害
ナス故ニコレヲ惡ミテ又スキツマニ倍リテ

似テ非サル道ノ 惡佞恐其亂義也惡利口恐其亂信也
佞ハ佞人ナリ
人心ヲ乱ルヲ云

非ラニキテハスコ義ニ似テ義ヲ乱ルナリ利口ハ口トキツ
一言ノ間ニ倍リテ信ニヒナスコレ信ニ似テ信ヲ乱ルナリ 惡鄭聲恐其亂樂也惡

紫恐其亂朱也
鄭聲ハ鄭國ノ樂声淫靡ナリ樂トハ雅樂ヲサス淫声ハ耳ノ私
欲ニミマスキラ以テ雅樂ヨリモ好ムモノ多コレ樂ヲ乱ルノ紫ハ
間色朱ハ正色ナリ紫色ハ純ナル故ニ目ノ私欲ニツミ 惡郷原恐其亂德也
郷原ノ
ヤスキヲ以テ正色ヨリモ好者多コレ朱ヲ乱ルナリ

潔似テ非ナレ世俗ノ好ム処ナラ以テヨク徳ヲ
亂ルナリ孟子聖語ヲヒク意此二句ニ重シ 君子反經而已矣
コレヨリ孟子ノ
語ナリ此君子

ハ徳ト位トヲ兼テ云經ハ常ナリ萬世不易ノ常道ヲ云凡ソ三綱五常ヨリ事物ノ細微ニ至
ルテ皆經常ノ道理アリコレヲ心得レハ徳ト云コレヲ政ニ用レハ經ト云フナリ蓋シ世道ヲトロヘテ
大經正レカテサレ時ハ人々郷原ノ如キ異説ツクリテ私ヲ濟シ入ラドハス君子此の時 經正則

庶民興
常道モトノ如クニ正クナル時ハ庶
民モ感化メテ道ニフリタツ 庶民興斯無邪慝矣
慝ハ惡ナリ庶
民正道ニ興

起スル時ハ是非明白ニシテキラハヒカラスヨリテ
邪惡ノ説アリトイハレ以テコレヲ感スニタラス 孟子曰由堯舜至於湯五百有

餘歲若禹臯陶則見而知之若湯則聞而知之

知之トハフノ道ヲ知ルナ
リコレ聖人ノ出世ヲ考

ルニ凡ソ五百歳ニノスナチ興リ出テコレ古來天運ノ常ナリコノ故ニ堯舜イテ玉ハ一時ノ禹臯
陶トドハ親ク見テシノ道ヲ知ルノ後五百餘歳ヲ歷テ成湯出テ玉ハ堯舜ノ道ヲキキタ
テコレヲ知レリ然レコレミナ名世ノ聖賢ナレハ必人ニウケタテテ後ニコレヲ知ルト云ニアラス
蓋シ同時ニアレハ君ヲ以テ主トスベシ異世ニアレ後聖ハ前聖ヲ以テ師トスヘキト當
然ナリ下ノ段々 由湯至於文王五百有餘歲若伊尹萊朱則見而

知之若文王則聞而知之

萊朱ハ湯ノ賢臣ナリ或人
ノ云ク即仲虺ナリト 由文王至於孔子

五百有餘歲若大公望散宜生則見而知之若孔子則聞而知

之散ハ姓宜生ハ名由孔子而來至於今百有餘歲去聖人之世若

此其未遠也近聖人之居若此其甚也聖人ノ居ハ魯ヲ云子思然而無

有乎爾則亦無有乎爾爾リトハ如此ト云義ナリ見知聞知ヲサレテ云コレ意ハモ

乎道統傳ヲ得タリトハアテイハサレ自今ノ世ノ見知ニアタルヲ得スルヲアタス又

天理人性ハイツメテモホロサレ者ナレハ百世ノ下モタリ道ヲ神會シ得スルハアルヒト思ヘル

意見タリ七篇ノ書ヲハラシトスル時ニ中道邪說ヲ辯明シ二歷聖相傳ノ統緒ヲ以テコレ

ヲ收メ論語ノ終篇ニ門人堯舜ヨリ孔子ニテノ道統ヲ繫ルト同シ意ナルベシ○孟子湯○中ヨリ

四百年ノ後趙宋ノ世ニ至リテ周程張朱ノ諸賢カルクヲコレテ不傳ノ學ヲ遺經ノ中ヨリ

發明シ前聖ノ道又豁然トシ明ナルヲ白日青天ニ中スルガ如シコニライテ孟子ノ期待スル

處アヤミタス後學ノ者テ正路ヲフミ知リテスミユクヲ得タリ天下何ノ難イカニシレキア

ラシ其恩澤カキリナキモノナリ

四書國字釋孟子卷之四 大尾

天明八戊申八月 御免

寬政六甲寅臘月發行

東都 須原茂兵衛

勝村治右衛門

京都 齋藤庄兵衛

中川藤四郎

